

令和4年度

事業概要

目 次

I 事業実施状況

1 災害救護	1
2 救急法等の講習	7
3 赤十字奉仕団	13
4 青少年赤十字	16
5 医療事業及び医療社会事業	22
6 社会福祉活動	28
7 血液事業	31
8 国際活動	35
9 看護師養成	36
10 赤十字思想の普及、広報活動の充実	37
11 会員増強運動	41
12 日本赤十字社埼玉県有功会	46
13 評議員会	48

II 会計報告

1 一般会計	49
2 特別会計	50

III 資料

1 埼玉県支部役職員名簿	54
2 災害救護資材配備状況	56
3 救援物資・弔慰金内訳	62
4 臨時救護実施状況	66
5 救急法・健康生活支援講習等講習会実施状況	71
6 赤十字奉仕団結成状況及び団員数	75
7 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会名簿	77
8 青少年赤十字加盟校一覧	78
9 地区・分区活動資金募集実績額	87
10 活動資金募集内訳表	90
11 特別社員受章者	94
12 一日赤十字実施状況	94

I 事業実施状況

1 災害救護

災害救護活動は日本赤十字社の最も重要な事業のひとつであり、社会から求められる大きな使命である。そのため、災害時に備えて常備医療救護班10個班(1個班標準6人編成)、血液供給要員及び災害対策本部要員を救護員として187人を登録し、救護訓練や研修を実施して研鑽に努めるなど、救護体制に万全を期している。

その他、救援車両・救護装備等の充足整備、被災者への救援物資配分、弔慰金の贈与、義援金・救援金の受付など、それぞれの災害の規模や状況に即して柔軟に幅の広い対応を行っている。

(1) 災害救護活動

派遣実績 なし

(2) 災害救護訓練

災害時に迅速な救護活動ができるよう次の訓練を行った。

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第43回九都県市合同防災訓練 (北本市会場) ※県主催	8月28日	北本総合運動公園 北本市体育センター	小川日赤救護班 1班 支部職員 4人
第43回九都県市合同防災訓練 (さいたま市会場) ※市主催	9月 4日	大宮消防署 合併記念見沼公園	さいたま日赤救護班 1班 支部職員 4人
関越自動車道高坂SA(上り線) 防災拠点合同訓練	10月12日	高坂SA	支部職員 3人
国民保護訓練	11月10日	富士見市	さいたま日赤 2人 支部職員 3人
日本赤十字社埼玉県支部 災害救護訓練	11月12日	比企郡小川町	管内施設職員 62人 支部職員 8人
日本赤十字社本社・第2ブロック 支部災害救護訓練	11月19~20日	神奈川県秦野市	小川日赤救護班 1班 支部職員 4人 深谷日赤 1人
日本赤十字社第2ブロック支部 先遣要員訓練	(学科) 1月16日 (実技) 1月19~20日	(学科)オンライン (実技)水戸市	支部職員 2人
関東管区広域緊急援助隊合同訓練	2月 2日	埼玉スタジアム 2002	さいたま日赤救護班 1班 支部職員 4人
支部災害対策本部訓練	2月 6日	埼玉県支部	支部職員 22人
帰宅困難者対策訓練	2月 8日	川口市	支部職員 1名
日本赤十字社第2ブロック被災地 支部災害対策本部運営・支援訓練	3月 3日	埼玉県支部	支部職員 24人 管内施設職員 3人

その他:広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力訓練等

(3) 災害救護関係研修・会議

災害救護業務の推進及び知識・技術の向上を図るため、各種研修会や会議を開催した。

ア 研修会

名称	日程	開催場所等	参加人数等
日本赤十字社埼玉県支部 救護班要員研修会	6月22～24日	ヘリテイジ美の山 (皆野町)	管内施設職員 68名 支部職員 8名
災害救護ロジスティック要員研修会	5月31日 7月22日	埼玉県支部	管内施設職員・支部職員 延べ 18人
埼玉県独自DMAT養成研修	9月8～9日 11月10～11日	埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター 埼玉県消防学校	スタッフ 4人 (さいたま・深谷・支部)
日赤災害医療コーディネート研修会 (第1回はスタッフ研修会)	9月10日～11日 1月21～22日	本社	スタッフ 5人 (さいたま・小川・支部) 参加者 1人(さいたま)
全国赤十字救護班研修会 (第1回はスタッフ研修会)	10月22日～23日 2月11～12日	本社 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院	スタッフ 4人 (さいたま・支部)
こころのケア指導者養成研修会	11月16～17日	本社	小川日赤 1人
救護員としての赤十字看護師 研修会	2月 3日 3月 14日 オンライン配信	さいたま赤十字病院 深谷赤十字病院 小川赤十字病院	管内施設職員 63人 支部職員 3人
こころのケア研修会	2月 9日 3月13日 3月17日	さいたま赤十字病院 小川赤十字病院 深谷赤十字病院	管内施設職員 34人 支部職員 3人
日赤看護大埼玉キャンパス 災害看護活動論	2月21日・22日	埼玉県支部 日本赤十字看護大学さいたま看護学部	支部職員 4人

その他:埼玉SMART基礎・応用研修(通年)、第三級陸上特殊無線技士養成講習 他

イ 会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第2ブロック支部事業推進担当 課長会議	5月16～17日	茨城県支部	支部職員 1人
救護員指導者会議(第1回)	4月27日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 13人
救護員指導者会議(第2回)	10月24日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 11人

救護員指導者会議(第3回)	12月28日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 12人
救護員指導者会議(第4回)	3月29日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 13人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第1回)	4月22日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第2回)	6月20日	本社	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第3回)	9月2日	本社	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第4回)	10月11日	本社	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第5回)	12月8日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第6回)	1月31日	日本赤十字社 本社	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第7回)	3月30日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人

(4) 赤十字防災ボランティアの養成等

大規模災害に備え、一般市民の防災意識高揚と災害時の赤十字防災ボランティアを養成するため、次のとおり研修や会議等を開催した。

<赤十字防災ボランティア養成事業>

研修会名	日程	開催場所等	参加人数等
防災ボランティア・リーダー養成研修会	6月25日・26日	埼玉県支部 (オンライン実施)	2人

(5) その他の救護活動

名称	日程	開催場所等	参加人数等
臨時救護 埼玉県ナース赤十字奉仕団 (式典、スポーツ大会等)	年間	県内各地	延べ派遣日数92日 延べ派遣者数114人 延べ患者数140人
大宮氷川神社雑踏救護	12月31日 ～1月3日	大宮氷川神社 (さいたま市大宮区)	看護師、職員、奉仕団 34人 取扱患者数 7人 迷子案内数 3人
埼玉県ナース赤十字奉仕団 研修会	6月・9月・12月 2月	埼玉県支部	延べ33人

(6) 日赤災害医療コーディネートチームの設置

大災害が発生した際、被災地における医療ニーズを把握し、本社又は支部の災害対策本部に効率

的かつ効果的な災害医療活動を実施するための専門的な助言をすること。また、自治体や他の医療救護機関との連携、調整を行うことを目的に、埼玉県支部に日赤災害医療コーディネートチームを設置している。

<日赤災害医療コーディネートチーム登録・任命状況> (令和5年3月31日現在)

登録・任命区分	人数	内訳
災害医療コーディネーター	10人	さいたま赤十字病院職員 6人 小川赤十字病院職員 2人 深谷赤十字病院職員 2人
コーディネートスタッフ	26人	さいたま赤十字病院職員 10人 小川赤十字病院職員 7人 深谷赤十字病院職員 5人 小川ひなた荘 1人 埼玉県支部職員 3人

(7) 支部管内救護装備・資材の整備

大規模災害発生時に迅速かつ効果的な救護活動を実施することを目的に、次の装備・資材を整備した。

<令和4年度配備災害救護装備・資材(支部財源 ※管内施設への配備を含む) >

品目	配備数	品目	配備数
災害救援車	1台	救急車(さいたま赤十字病院整備)	1台
ホワイトボード	2台	救護用ノートPC	2台
LED懐中電灯	7個	LEDランタン	7個
災害時情報記録用紙「ACT-it」	500枚	ライティングシート	125枚
アイシールド	100個	蓄電池(大)	2台
蓄電池(小)	3台		

(8) 地区・分区に対する救援物資配分及び救護装備・資材の整備

県内において火災・床上浸水などの小規模災害に対して、迅速に配分を行った。

ア 救援物資分置状況 49地区・23分区

<分置総数>

布団セット	821組	毛布	1,086枚	緊急セット	757個
-------	------	----	--------	-------	------

イ 被災世帯数及び人員並びに配分品内訳

(令和5年3月31日現在)

	被災世帯数 (戸)	人数 (人)	配分品内訳		
			布団セット(組)	毛布(枚)	緊急セット(個)
火災	149	319	257	237	129
床上浸水	17	32	28	26	14
その他	7	16	29	14	20
合計	173	367	314	277	163

ウ 災害弔慰金

31件 690,000円

エ ウクライナ人道危機に対する救援物資の提供

ウクライナ人道危機を逃れ、埼玉県内で生活される避難民の方に対して、地区・分区を通じて救援物資の提供を行った。

(令和5年3月31日現在)

世帯数 (戸)	人数 (人)	配分品内訳			
		布団セット(組)	毛布(枚)	緊急セット(個)	感染予防セット(個)
20	43	42	32	20	9

オ トルコ・シリア地震に対する救援物資の提供

トルコ・シリア地震の被害により、埼玉県内で生活される避難民の方に対して、地区・分区を通じて救援物資の提供を行った。

(令和5年3月31日現在)

世帯数 (戸)	人数 (人)	配分品内訳		
		布団セット(組)	毛布(枚)	緊急セット(個)
1	3	3	3	3

カ 赤十字救援車の配備

8地区に対し、赤十字救援車を8台配備した。

配備地区:熊谷市地区・加須市地区・狭山市地区・羽生市地区・蕨市地区
戸田市地区・伊奈町分区・嵐山町分区

キ 地区・分区へ配備した救護装備・資材

地域における災害救護体制の整備を図ることを目的として策定した「日本赤十字社埼玉県支部地区・分区救護装備・機器配備要綱(第7次3か年計画:令和4年度~6年度)」に基づき、地区・分区向け資材を順次配備した。令和4年度はその3か年計画の第1年次であり、整備品目は以下のとおり(24品目)である。

品目	配備数	配備地区・分区数	品目	配備数	配備地区・分区数
移動炊飯器	2台	2	天幕(1.5間×2間)	5張	5
軽量折りたたみ式テント	2台	2	プライベートテント	10張	5
パーテーション	44台	9	簡易ベッド	9台	2
車椅子	10台	6	ブルゾン(リバーシブル)	62着	15
ブルゾン(春夏用)	45着	10	防寒衣	17着	6
ハンズフリー拡声器	11個	4	トランシーバー(一対)	12セット	4
LEDランタン	24個	9	中型救急箱(中身含む)	7個	5
中型救急箱(中身のみ)	45個	14	自動ラップ式簡易トイレ	3台	3
非常用糞尿処理セット	13セット	4	大型扇風機	43台	10

スポットクーラー	16台	11	赤外線オイルヒーター	5台	5
ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	35セット	21	非接触型体温計	38個	17
飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	50台	5	二酸化炭素濃度測定器	76個	23

(9) 義援金等の取扱い

日本赤十字社では国内外の災害等に対する義援金・救援金を受け、被災地に送金している。

ア 国内災害義援金 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

義援金名	件数	金額
平成30年7月豪雨災害義援金	63件	354,288円
令和2年7月豪雨災害義援金	131件	900,794円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	94件	616,128円
令和4年7月大雨災害義援金	82件	391,600円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	230件	4,673,173円
令和4年台風第15号災害義援金	106件	767,915円
計	706件	7,703,898円

イ 海外救援金 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

救援金名	件数	金額
無指定海外救援金	2件	12,000円
中東人道危機救援金	10件	105,159円
バングラデシュ南部避難民救援金	38件	106,674円
アフガニスタン人道危機救援金	54件	182,435円
ウクライナ人道危機救援金	1,087件	52,004,176円
2022年アフガニスタン地震救援金	35件	301,164円
2022年パキスタン洪水救援金	36件	178,828円
2023年トルコ・シリア地震救援金	312件	22,863,124円
計	1,574件	75,753,560円

救援金名	件数	金額
NHK海外たすけあい	482件	937,843円

ウ 一円玉募金 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

青少年赤十字加盟校(園)募金	件数	金額
一円玉募金(教育等支援事業募金)	8件	80,304円

2 救急法等の講習

不慮の事故や急病、災害に対する救命手当・応急手当の方法など、県民の命と健康を守るため、各機関・団体等からの依頼に応じて講習指導員を派遣し、健康・安全に関する知識と技術の普及と啓発を行っている。

令和4年度は、水上安全法救助員養成講習以外の養成講習は新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら再開したが、県内の感染状況が拡大した時期(7月下旬から8月末)は養成講習を見合わせた。

短期講習は、昨年同様に集合型の講習やオンラインによる講習も行った。

(1) 救急法

一次救命処置(心肺蘇生法とAEDの使い方)やけがの手当についての知識と技術の普及を目的に、令和4年度は、次のとおり開催した。

講習会名	回数	受講者数
基礎講習	45回	929人
救急員養成講習	16回	360人
短期講習	157回	3,788人

※基礎講習:傷病者の観察の仕方及び一次救命処置(心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去)等救急法の基礎

※救急員養成講習:急病の手当、けがの手当(止血法、包帯法、固定法)、搬送及び救護

※短期講習:基礎講習及び救急員養成講習の内容の一部

(2) 水上安全法

水の事故から命を守るための知識と技術の普及を目的として講習を行っているが、新型コロナウイルスへの感染防止のため、水上安全法救助員養成講習を中止とした。

講習会名	回数	受講者数
救助員Ⅰ養成講習	開催なし	—
救助員Ⅱ養成講習		
短期講習	25回	936人

※救助員Ⅰ養成講習:水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当

※救助員Ⅱ養成講習:海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当

※短期講習:救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部

(3) 健康生活支援講習

家庭における高齢者の健康管理、介護予防、介護の仕方等の知識と技術の普及を目的として、令和4年度は、次のとおり実施した。

講習会名	回数	受講者数
支援員養成講習	1回	8人
災害時高齢者生活支援講習	11回	257人
短期講習	32回	321人

※支援員養成講習：高齢期における健康の維持と増進、家庭内の看護、自立に向けての介護及び地域の高齢者支援

※災害時高齢生活支援講習：災害が高齢者に及ぼす影響や避難所生活で気を付けたい症状や支援技術

※短期講習：支援員養成講習の内容の一部

(4) 幼児安全法

子どもの事故予防や応急手当、看病の仕方などの知識と技術を普及するため、令和4年度は次のとおり実施した。

講習会名	回数	受講者数
支援員養成講習	2回	43人
短期講習	54回	854人

※支援員養成講習：子どもに起こりやすい事故の予防と手当及び子ども病気への対応

※短期講習：支援員養成講習の内容の一部

(5) 雪上安全法

安全にスキーを行うために、雪上での事故防止、急病人やけが人の救助、手当などの知識と技術の普及を目的とする講習である。

(6) 第一種運転免許応急救護処置指導者養成講習会

毎年、埼玉県自動車教習所協会からの依頼に基づき、所属の教習所教官を対象に応急救護処置講習指導者の養成を行っているが、令和4年度は、2回実施した。

(7) 赤十字防災セミナー(日本赤十字社防災教育事業)

地域住民が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的として、赤十字奉仕団員や一般市民等を対象に、以下のとおり赤十字防災セミナーを実施した。

内容(カリキュラム)：災害への備え(講義)

災害エスノグラフィー(グループワーク)

災害図上訓練(DIG)(グループワークまたは個人ワーク)

減災に役立つ実技(※旧減災セミナーの内容)

- ・三角巾などによる手当
- ・毛布等を活用したガウンでの保温方法
- ・ホットタオルの作り方
- ・ポリエチレン袋を使った非常食調理方法(デモのみ)

日程	受講対象者・団体名	内容	受講者数
4月15日	鴻巣市赤十字奉仕団	災害図上訓練	36人
5月19日	熊谷市赤十字奉仕団	災害への備え	29人
6月13日	特別養護老人ホーム つきがわ	災害への備え 減災に役立つ実技	17人
7月22日	深谷市災害ボランティア	災害図上訓練	18人
8月17日	嵐山町奉仕団・町内 JRC 生徒・ 役場職員	災害図上訓練	16人
8月26日	寄居町内学生	災害への備え 減災に役立つ実技	7人
8月27日	岸六自主防災会	災害への備え 減災に役立つ実技	22人
9月2日	横瀬町赤十字奉仕団	災害図上訓練	12人
9月10日	川越久下戸住宅自治会	災害への備え	13人
9月11日	上尾丸山団地自治会	災害への備え	16人
9月13日	所沢市赤十字奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	12人
9月28日	小川町赤十字奉仕団	災害への備え	27人
9月28日	秩父市赤十字奉仕団吉田分団	災害への備え	16人
9月29日	社会福祉法人 朝霞地区福祉会 地域包括支援センター 朝光苑	災害への備え 減災に役立つ実技	8人
11月1日	毛呂山町赤十字奉仕団	災害への備え	61人
11月9日	児玉地域ボランティア連絡調整会員	災害への備え	12人
11月20日	深谷市赤十字奉仕団・ 埼玉県立熊谷工業高等学校生徒・ PTA・教職員	災害図上訓練 ※終了後、災害時高 齢者生活支援講習を 実施	20人
11月24日	松伏町立松伏第二中学校	災害図上訓練	150人
11月25日	宮代町赤十字奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	13人
12月4日	与野高層住宅自治会	災害への備え	14人
12月8日	寄居町鉢形財産区会館	災害への備え 減災に役立つ実技	16人
12月13日	戸田建設株式会社関東支店	災害への備え 減災に役立つ実技	8人
12月15日	埼玉県ナース赤十字奉仕団	エスノグラフィー	8人
12月21日	伊奈町赤十字奉仕団	災害への備え	20人
1月8日	日赤埼玉水上安全奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	13人

1月26日	川島町赤十字奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	21人
2月2日	狭山市赤十字奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	22人
2月5日	県営熊谷玉井住宅住民	災害への備え	9人
2月17日	吉見町赤十字奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	14人
3月11日	熊谷市赤十字奉仕団・一般市民	災害への備え 減災に役立つ実技	24人
3月18日	一般市民・鴻巣市赤十字奉仕団	災害図上訓練	78人
3月23日	日高市赤十字奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	27人
計 32回			779人

また、赤十字防災セミナーをはじめとする防災教育事業の実施・指導にあたる指導者(ファシリテーター)の養成研修を以下のとおり実施した。

名称	日程	開催場所	参加人数
日本赤十字社防災教育事業 主任指導者研修会(1回目)	5月10日	オンライン実施	支部職員 3人
日本赤十字社防災教育事業 主任指導者研修会(2回目)	11月8日	本社	支部職員 3人
日本赤十字社防災教育事業 本社指導者養成研修会	10月1日 ~2日	本社	ボランティア 1人
日本赤十字社防災教育事業 支部指導者養成研修会	1月14日 ~15日	埼玉県支部	ボランティア 17人 支部職員 5人

(8) 講習普及に対するボランティアの育成

講習事業の普及推進のため、各奉仕団が主体となって団員を対象に研修を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、一堂に会する人数を最小限とし、開催期間を短縮するほか、感染予防対策を徹底したうえで実施している。

名称	日程	開催場所	参加人数等
日赤埼玉水上安全奉仕団 研修会	9月3日	沼影市民プール	奉仕団員 27名 支部職員 1名
埼玉県子育て介護赤十字奉仕団 研修会・勉強会	6月 5日	埼玉県支部	奉仕団員延べ 63人 支部職員延べ 6人
	7月25日	埼玉県支部	
	9月25日	埼玉県支部	
	10月26日	埼玉県支部	
	12月 1日	埼玉県支部	
埼玉県安全赤十字奉仕団	1月25日	埼玉県支部	
埼玉安全赤十字奉仕団	5月28日	埼玉県支部	奉仕団員延べ 111人

研修会・勉強会	7月 2日	埼玉県支部	支部職員延べ 9人
	7月 6日	埼玉県支部	
	9月17日	埼玉県支部	
	11月12日	埼玉県支部	
	12月17日	埼玉県支部	
	12月24日	埼玉県支部	
	1月14日	埼玉県支部	
	1月15日	埼玉県支部	

(9) 講習指導員の養成

講習普及体制を拡充強化するため、感染予防対策を徹底したうえで、下記のとおり実施した。

名称	日程	開催場所	養成人数
赤十字救急法指導員養成講習	11月26日、27日、 12月2日、3日、4日	埼玉県支部	18人

(10) 救急法等指導員在籍状況

	赤十字職員	ボランティア	計
救急法指導員	96人	127人	223人
水上安全法指導員	3人	51人	54人
雪上安全法指導員	1人	4人	5人
健康生活支援講習指導員	32人	33人	65人
幼児安全法指導員	35人	55人	90人

(11) 講習指導員の育成

各都道府県支部で実施している赤十字講習がより充実したものになるよう、講習指導者の指導技術の向上・統一を図ることを目的として次のとおり各種研修会を開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、開催形態を見直して実施した。

ア 赤十字救急法等講師研修会

名称	日程	開催場所等	参加人数等
健康生活支援講習・ 幼児安全法合同講師研修会	1月10日 ～12日	本社及び埼玉県支部 (オンライン実施)	4人
水上安全法講師研修会	10月6日 ～7日	本社PMOビル	2人
救急法講師研修会	1月24日 ～25日	本社及び埼玉県支部 (オンライン実施)	4人

イ 赤十字講習指導員研修会

名称	日程	開催方法	参加人数等
幼児安全法指導員研修会	3月5日～6日	集合型	指導員 54人
健康生活支援講習指導員研修会	3月12日～13日	書面開催	指導員 40人

水上安全法指導員研修会	1月30日	集合型	指導員 22人
救急法指導員研修会	3月5日～6日	集合型	指導員 113人

(12) 講習普及に関する会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第2ブロック支部事業推進担当課長会議(再掲)	5月16日～17日	茨城県支部	支部職員 1人
講習担当者研修会	7月4日～5日	本社	支部職員 1人
赤十字講習推進委員会	9月13日	オンライン実施	支部職員 1人
地域包括ケア会議	5月25日	オンライン実施	支部職員 3人
	10月26日	オンライン実施	

(13) 講習資材等の整備

品目	整備数
車椅子	3台

3 赤十字奉仕団

地域のボランティアが主体となって、人道博愛の精神のもとに、災害時の救援活動、献血の推進、障がいを持つ方や高齢者の福祉向上のための奉仕活動などを実践し、明るく住みよい地域社会づくりに貢献している。

なお、令和4年度における奉仕団の共通活動目標は、次のとおりとし、地域や団体ごとに工夫を凝らしたPRに努め、赤十字のすそ野を広げるための活動も推進した。

<共通活動目標>

- 地域防災訓練への積極的参加
- 地域に求められる奉仕団活動の推進
- 赤十字防災セミナーの受講

(1) 奉仕団数及び団員数

(令和5年3月31日現在)

区分 地区別	管内 総数	結成 地域数	結成 比率	奉仕 団数	団員数		
					男	女	計
地域奉仕団(市・区) ^{※1}	49	28	57%	28	369	3,541	3,910
〃 (町・村)	23	21	91%	21	93	1,358	1,451
小計	72	49	68%	49	462	4,899	5,361
青年奉仕団 ^{※2}	-	-	-	3	58	82	140
特殊奉仕団 ^{※3}	-	-	-	9	657	299	956
救護ボランティア	-	-	-	-	42	16	58
合計	72	49	68%	61	1,219	5,296	6,515

※1 さいたま市を除く市及びさいたま市内10区の合計

※2 青年奉仕団・・・埼玉県青少年赤十字卒業生、共栄大学、
日本赤十字看護大学さいたま看護学生

※3 特殊奉仕団・・・マジック、安全、病院ボランティア、ナース、支部援助、水上安全、
青少年赤十字賛助、子育て介護、埼玉工業大学(大学職員・学生)

(2) 主な活動内容

毎年実施している会員増強運動をはじめとした赤十字事業全般への協力、福祉施設・医療機関等への慰問や作業奉仕などの活動及びボランティア(奉仕団員)のスキルアップ研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染対策により、中止や規模を縮小して実施した。

今年度は、青少年赤十字加盟校と連携、協働した活動や地域包括ケアに関する活動など、県内各地で地域共生を目指した活動を推進した。

(3) 奉仕団関係主要事業

ア 奉仕団員の研修等

名称	日程	開催場所	参加人数
ボランティア基礎研修会	第1回 6月23日	坂戸市文化会館	15人
	第2回 6月29日	埼玉県支部	24人
	第3回 7月6日	熊谷市妻沼公民館	17人
赤十字奉仕団委員長研修会	10月21日	埼玉県支部	32人
ボランティア・リーダーシップ研修会	第1回 3月8日	埼玉県支部	26人
	第2回 3月9日	埼玉県支部	13人

その他:

- 赤十字ボランティア・リーダー研修会(地域・特殊奉仕団対象) [1月28～30日:本社]
…地域奉仕団委員長1人が参加
- 赤十字ボランティア・リーダー研修会(青年奉仕団対象) [8月27～28日:オンライン実施]
…青年奉仕団委員1人が参加 ※オンライン実施
- 第1回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会常任委員会 [5月18日:埼玉県支部]
…正副委員長2人、常任委員4人が出席
- 第1回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会 [5月18日:埼玉県支部] …委員20人が出席
- 第2回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会常任委員会 [12月7日:埼玉県支部]
…正副委員長2人、常任委員3人が出席
- 第2回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会 [12月7日:支部] …委員18人が出席
- 第2ブロック支部奉仕団委員長・担当課長会議 [11月21日:オンライン実施]
- 赤十字奉仕団中央委員会 [5月30日～31日:オンライン実施]
…支部委員会副委員長1人が出席

イ 青年奉仕団の事業

名称	日程	開催場所	参加人数
令和4年度埼玉県青年赤十字奉仕団連絡協議会 団員研修会	12月11日	埼玉県支部	参加団員 7人
第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月26日(第1回) 11月26日(第2回)	オンライン実施	参加団員 2人
クリスマス献血キャンペーン2022	12月17日～18日	オンラインイベント 実施	※オンラインイベントのため団員の参加なし

その他:共栄大学学生赤十字奉仕団、さいたま看護大学学生赤十字奉仕団の設立

大宮アルディージャ手話応援デー参加[6月26日:NACK5スタジアム]

青年赤十字奉仕団全国協議会、青少年赤十字活動支援

ウ 青少年赤十字賛助奉仕団の事業

名称	日程	開催場所	参加人数
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団総会	6月10日	埼玉県支部	参加団員 45人

全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 第2ブロック研究会	11月29日	茨城県支部	※新型コロナウイルス感染症のまん延により書面開催へ変更
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団 全体研修会	10月13日	首都圏外郭放水路 他	参加団員 36名 職員 2名

その他：青少年赤十字加盟校・未加盟校の訪問、加盟促進

エ 活動費の助成

地域奉仕団、特殊奉仕団、青年奉仕団に対し、活動費の助成を行った。

オ 赤十字PR用資材の提供

地域奉仕団に対し、赤十字PR用資材(リーフレット、ポケットティッシュ等)の提供を行った。

4 青少年赤十字

赤十字精神に基づき、青少年が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的に「健康安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の三つの実践目標を掲げて活動を展開した。

(1) 青少年赤十字加盟校の状況

新たに24校が新規加盟し、626の学校(園)で約20万人のメンバーが活動を行った。また、青少年赤十字研究奨励費を50校に交付し、活動の多様化・活性化を促進した。

ア 加盟校(園)、メンバー数

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	127園	271校	159校	66校	3校	626校(園)
メンバー数	16,205人	119,053人	63,176人	14,408人	447人	213,289人

イ 令和4年度新規加盟校(園)

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	1園	15校	3校	4校	1校	24校(園)
メンバー数	111人	8,638人	1,089人	617人	266人	10,721人

ウ 令和4年度退会校(園)

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	4園	4校	2校	2校	0校	12校
メンバー数	471人	1,438人	642人	309人	0人	2,860人

(2) 主な事業

子どもたちの自主性や自律性を引き出すため、学校の先生が指導者となりメンバー(児童・生徒)を対象に毎年宿泊型集合研修「リーダーシップ・トレーニング・センター」を開催してきたが、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は代替事業の実施や延期、形態や内容等規模を縮小して実施をした。

また、海外姉妹赤十字社・赤新月社との国際交流事業などについては、引き続きオンラインツールを活用することで新たな形での学びや活動の機会を創出するほか、他の事業についても学校の実情に応じてハイブリッド形式(対面とオンラインとの併用)を採用するなど柔軟性をもって実施した。

ア 各種研修会等

<支部・指導者協議会共催>

① 指導者対象研修

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
青少年赤十字担当者研修会【新規】	4月20日 (水)	オンライン	指導者 14人 支部職員 4人
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成研修会【新規】	6月25日(土) ~26日(日) 1泊2日	埼玉県立加須 げんきプラザ	指導者 15人 支部職員 3人

青少年赤十字指導者研修会	8月22日 (月)	埼玉県支部	指導者 22人 支部職員 8人
こども赤十字指導者研修会	8月23日 (火)	埼玉県支部	指導者 14人 支部職員 7人

② メンバー対象研修

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
埼玉県青少年赤十字高校生協議会	5月8日 (日)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	高校生 51人 指導者 9人 支部職員 5人
埼玉県青少年赤十字高校生協議会 役員研修会	6月5日 (日)	埼玉県支部	高校生 12人 指導者 10人 支部職員 2人
埼玉県青少年赤十字高校生協議会 テーマ別学習会①	9月18日 (日)	さいたま市岩槻区東 口コミュニティセンタ ー	高校生 17人 指導者 2人 支部職員 4人
高校生対象救急法基礎・救急員養成 講習会	7月29日 (金)～31日 (日)	埼玉県支部	※新型コロナウイルス 感染症のまん延によ り中止
埼玉県青少年赤十字高校生協議会 テーマ別学習会②	1月29日 (日)	埼玉県支部	高校生 27人 日本語学校の学生 23人 指導者 6人 支部職員 4人
埼玉県青少年赤十字高校生協議会 テーマ別学習会③	1月31日(火) ～3月3日(金)	オンデマンド配信	視聴者 22人
小・中学生一日防災学習プログラム	2月4日 (土)	首都圏外郭放水路 (春日部市) 埼玉県防災学習セ ンター(鴻巣市)	児童・生徒 34人 指導者 10人 支部職員 3人
第44回群馬・埼玉高校生交歓研修会	2月5日 (日)	埼玉県支部	生徒 37人 指導者 12人 支部職員 4人
青少年赤十字「親子で防災教室」 【新規】	3月19日 (日)	埼玉県支部	参加者 36人 指導者 1人 赤十字ボランティア5人 支部職員 7人

③ リーダーシップ・トレーニング・センター
 ≪県指導者協議会共催≫

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
小・中学生リーダーシップ・トレーニ ング・センター	7月30日(土) ～8月1日(月) 2泊3日	埼玉県立加須 げんきプラザ	※新型コロナウイルス 感染症のまん延によ り中止
高校生リーダーシップ・トレーニン グ・センター	8月6日(土) ～8日(月) 2泊3日	埼玉県立加須 げんきプラザ	※新型コロナウイルス 感染症のまん延によ り中止

≪地区指導者協議会共催≫

名称	日程	開催場所等	参加人数
入間地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月4日(木)	埼玉県立小川げんきプラザ	児童 25人 指導者 14人
比企地区リーダーシップ・トレーニング・センター	今年度 開催なし		
大里地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月9日(火)		※新型コロナウイルス感染症のまん延により中止
北埼玉地区小中学生リーダーシップ・トレーニング・センター	8月24日 (水)	オンライン実施	児童・生徒 76人 指導者 23人 支部職員 6人
埼玉葛地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月2日(火) ～4日(木) 2泊3日	茨城県立さしま少年 自然の家	※新型コロナウイルス感染症のまん延により中止

④ 指導者対象会議

名称	日程	開催場所	参加人数等
第1回指導者協議会役員会	5月27日 (金)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	指導者 12人 支部職員 4人
青少年赤十字指導者協議会総会・研究協議会	6月10日 (金)	埼玉県支部・ (ハイブリッド形式)	指導者 50人 支部職員 5人
地区協議会運営費補助金等説明会	6月15日 (水)	埼玉県支部・ (ハイブリッド形式)	指導者 5人 支部職員 3人
第2回指導者協議会役員会	9月30日 (金)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	指導者 15人 支部職員 4人
第3回指導者協議会役員会	2月28日 (火)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	指導者 15人 支部職員 3人

⑤ メンバー(高校生)対象会議

名称	日程	開催場所	参加人数等
第1回推進委員会	6月12日 (日)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	高校生 4人 指導者 1人 支部職員 1人
第1回高校生協議会役員会・第2回推進委員会・第1回国際理解・親善委員会	7月10日 (日)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	高校生 27人 指導者 5人 支部職員 1人
第2回高校生協議会役員会・第3回推進委員会	7月17日 (日)	オンライン	高校生 9人 指導者 3人 支部職員 1人
第3回高校生協議会役員会・第4回推進委員会	8月2日 (火)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	高校生 9人 指導者 1人 支部職員 2人
第2回国際理解・親善委員会	8月5日 (金)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	高校生 11人 指導者 2人 支部職員 1人

第1回広報委員会	8月10日 (水)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	高校生 4人 指導者 1人 支部職員 1人
第2回広報委員会	10月2日 (日)	埼玉県支部	高校生 3人 指導者 1人 支部職員 1人
第3回国際理解・親善委員会	10月28日 (金)	オンライン	高校生 6人 指導者 2人 支部職員 1人
第4回国際理解・親善委員会	12月14日 (水)	オンライン	高校生 9人 指導者 3人 支部職員 1人
第4回高校生協議会役員会	12月15日 (木)	埼玉県支部	高校生 3人 指導者 0人 支部職員 1人
第5回高校生協議会役員会・第3回 広報委員会	1月15日 (日)	埼玉県支部	高校生 6人 指導者 2人 支部職員 1人
第5回国際理解・親善委員会	1月18日 (水)	埼玉県支部 (ハイブリット形式)	高校生 9人 指導者 3人 支部職員 1人
第4回広報委員会	3月12日 (日)	埼玉県支部	高校生 4人 指導者 1人 支部職員 1人
第5回広報委員会	3月26日 (日)	埼玉県支部	高校生 3人 指導者 1人 支部職員 1人

<本社主催>

名 称	日 程	開催場所	本県支部参加人数等
青少年赤十字支部担当者研修会	4月8日(金)	オンライン	支部職員2人
青少年赤十字創設100周年 オープニングイベント	5月5日 (木・祝)	オンライン	メンバー、指導者、 職員等多数
青少年赤十字リーダーシップ・トレー ニング・センター指導者養成講習会	今年度 開催なし		
全国青少年赤十字社指導者協議会 総会・研修会	6月29日 (水)	オンライン	指導者1人 支部職員2人
指導主事対象青少年赤十字研究会	今年度 開催なし		
令和4年度青少年赤十字スタディ・ プログラム(第1部)	3月21日 (火・祝)予定	オンライン	生徒2人 支部職員1人
令和4年度青少年赤十字スタディ・ プログラム(第2部)	3月25日 (土)予定	本社	生徒2人 指導者1人

<第2ブロック支部主催>

名 称	日 程	開催場所	本県支部参加人数等
青少年赤十字指導者研究協議会 総会・研究集会	8月19日 (金)	オンライン	指導者 4人 支部職員 3人

<北関東四県(茨城・栃木・群馬・埼玉)支部主催>

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
バングラデシュ南部避難民保健医療 支援事業オンライン研修会【新規】	1月29日 (日)	オンライン	本県支部青少年赤十字 加盟全校種の指導 者・メンバー等62人

イ 国際交流

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
大韓赤十字社京畿道支社RCY/ 日本赤十字社埼玉県支部JRC オンライン異文化交流プログラム 2022	8月10日 (水)	埼玉県支部 (ハイブリッド形式)	高校生 22人 指導者 6人 支部職員 5人
国際交流事業(第1部)	10月2日 (日)	オンライン	高校生 10人 指導者 1人 支部職員 2人
国際交流事業(第2部)	11月5日 (土)・6日 (日)	オンライン	高校生 9人 指導者 1人 支部職員 3人
香港紅十字社ユースボランティアとの オンライン国際交流	3月18日 (土)	オンライン	中学生 4人 高校生 17人 指導者 7人 支部職員 3人

ウ 防災教育、人権教育等出前授業

内容	対象	回数	参加人数
防災教育	児童生徒および教員等	10回	737人
人権教育	児童生徒および教員等	5回	1,047人
その他 (赤十字の仕事について)	生徒	2回	427人

エ 埼玉県支部研究奨励校

学校・幼稚園		
嵐山町立嵐山幼稚園 さいたま市立東大成小学校 さいたま市立常盤北小学校 さいたま市立辻小学校 川越市立川越小学校 熊谷市立熊谷西小学校 熊谷市立中条小学校 熊谷市立大幡小学校 熊谷市立石原小学校 熊谷市立市田小学校	深谷市立八基小学校 上尾市立東町小学校 越谷市立南越谷小学校 越谷市立蒲生南小学校 越谷市立千間台小学校 越谷市立大沢小学校 坂戸市立勝呂小学校 鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 神川町立神泉小学校 三芳町立竹間沢小学校	加須市立加須平成中学校 東松山市立北中学校 春日部市立春日部中学校 春日部市立豊春中学校 草加市立栄中学校 草加市立瀬崎中学校 越谷市立中央中学校 蓮田市立平野中学校 幸手市立幸手中学校 三郷市立彦糸中学校

川口市立南鳩ヶ谷小学校 川口市立安行小学校 川口市立戸塚南小学校 川口市立並木小学校 行田市立忍小学校 加須市立原道小学校 春日部市立南桜井小学校 鴻巣市立田間宮小学校	さいたま市立与野西中学校 さいたま市立白幡中学校 さいたま市立田島中学校 さいたま市立常盤中学校 さいたま市立桜山中学校 さいたま市立美園中学校 秩父市立尾田蒔中学校 加須市立昭和中学校	宮代町立百間中学校 県立常盤高等学校 坂戸市立入西小学校 筑波大学附属坂戸高等学校
---	--	--

オ その他、各地区協議会や各校（園）での活動支援

- ・地区協議会や各校（園）が主催する各種行事への職員、赤十字奉仕団（ボランティア）等の派遣（例：登録式、指導者研修会、救急法等講習会、校内や地域との防災訓練等）
- ・各種教材や資材の提供、貸出

(3) 学校や地域の青少年赤十字への理解促進

ア 青少年赤十字創設100周年記念事業の実施

- ① 青少年赤十字作品コンクールの実施（5月～9月）
 - ・ポスター・作文・標語・書道（毛筆）・活動動画の5作品
 - ・応募校：68校 / 応募総数 129点
- ② 記念パンフレットの作成、配布（10月～3月）
- ③ 記念動画の制作、配信（7月～3月）
- ④ 記念大会の開催（11月18日・さいたま市文化センター）
 - ・青少年赤十字作品コンクール入賞作品の展示及び入賞者の表彰
 - ・記念動画の上映
 - ・記念講演「笑顔のもとに笑顔が集まる」
講師：林家たい平 氏
 - ・青少年赤十字加盟校混声合唱団による演奏 春日部市立豊春中学校
- ⑤ 積極的に活動した青少年赤十字加盟校の児童・生徒の表彰（12月～3月）

イ 県・地区・各校で実施した行事や特色ある活動、各赤十字奉仕団等ボランティアとの連携した活動事例の発信（通年）

- ・支部ホームページや各種SNSを活用した情報発信

ウ 青少年赤十字に関する各種情報紙の作成、配付・配信（通年）

- ・指導者向け情報紙、ニュースレター
- ・校内掲示用「フォトニュース」等

5 医療事業及び医療社会事業

高度化、専門化の進む医療環境に対応するため、日本赤十字社では医療事業推進本部制を敷き、健全かつ安定的な病院経営を維持するためグループ運営に努めている。

県内においてはさいたま、小川、深谷各赤十字病院が各地域の中核医療機関として、高度医療、救急医療、周産期医療、保健衛生活動の中心的役割を担っているほか、新型コロナウイルス感染症患者の治療・受け入れや病床確保に努めるなど、赤十字の理念に基づく幅広い医療事業を展開している。

(1) 病院の概要等

名称	さいたま赤十字病院	小川赤十字病院	深谷赤十字病院
創立年月日	昭和9年7月5日	昭和14年5月27日	昭和25年11月1日
所在地	さいたま市中央区新都心1-5	比企郡小川町小川1525	深谷市上柴町西5-8-1
電話番号	048-852-1111	0493-72-2333	048-571-1511
敷地(延)	14,001.33㎡	45,157.54㎡	24,728.8㎡
建物(延)	67,333.69㎡	21,588.93㎡	34,421.64㎡
院長名	清田 和也	竹ノ谷 正徳	伊藤 博

(2) 病床数及び職員数

(令和5年3月31日現在)

病院名		さいたま赤十字病院	小川赤十字病院	深谷赤十字病院
病床数	一般	632床	252床	468床
	感染症	0床	0床	6床
	精神	6床	50床	0床
	計	638床	302床	474床
職員数	医師	248人	23人	103人
	看護師	789人	213人	466人
	薬剤師	34人	16人	25人
	その他	400人	108人	264人
	合計	1,471人	360人	858人

(3) 診療科別・入院外来別延べ患者数内訳

(令和4年4月～令和5年3月 単位:人)

診療科	入院			外来		
	さいたま	小川	深谷	さいたま	小川	深谷
内科	42,608	32,594	11,712	82,331	41,034	13,539
血液内科	12,520	-	11,574	10,936	-	12,641
腎臓内科	3,737	-	7,256	13,243	-	6,388
精神科・神経科	0	251	0	4,357	13,690	3,784
神経内科	-	0	-	-	0	-
脳神経内科	8,469	-	1,489	9,098	-	4,468
呼吸器科・呼吸器外科	2,083	0	1,968	3,700	0	1,522
消化器科・胃腸科	-	0	8,043	-	0	10,196
循環器内科	17,325	0	15,700	38,036	0	11,246
小児科	3,529	0	5,094	5,456	0	12,126
外科	18,629	9,441	14,980	34,003	13,248	18,088
整形外科	28,724	18,940	10,399	27,772	21,562	17,461
形成外科	625	0	1,450	2,194	0	5,276
脳神経外科	8,604	1,756	5,281	5,250	5,639	3,417
心臓血管外科	4,789	0	1,932	3,891	0	2,573
小児外科	-	0	502	-	0	2,094
皮膚科	714	228	0	7,948	4,651	11,090
泌尿器科	4,788	3,236	4,724	15,460	13,043	8,599
産婦人科	15,999	0	4,993	24,796	2,230	12,740
眼科	5,233	1,329	216	18,423	12,722	9,051
耳鼻咽喉科	1,919	27	0	9,998	2,009	2,945
放射線科	0	0	0	9,858	722	4,964
麻酔科	0	0	0	4,640	695	2,859
救急科	19,730	0	9,668	6,553	0	1,041
緩和ケア科	0	0	2,966	35	0	1,028
歯科口腔外科	854	0	322	14,759	0	8,035
合計	200,879	67,802	120,269	352,737	131,245	187,171

※さいたま赤十字病院における内科は、肝胆膵内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内分泌内科・膠原病リウマチ内科を合算

※さいたま赤十字病院の呼吸器患者数は、呼吸器外科のみの患者数

※さいたま赤十字病院の救急科 外来患者数は、ERを含む

※さいたま赤十字病院・深谷赤十字病院の外科患者数は消化器外科と乳腺外科を合算

※深谷赤十字病院における精神科患者数(入院分)は内科に含む

(4) 救急患者取扱状況

ア 時間帯による搬送別状況

(単位:人)

時間帯	搬送手段	搬送事由	さいたま	小川	深谷
時間内	救急車	交通事故	8	30	56
		その他	2,459	725	1,638
	その他	交通事故	3	1	10
		その他	1,202	80	1,204
時間外	救急車	交通事故	269	38	48
		その他	3,707	575	1,111
	その他	交通事故	24	9	11
		その他	3,229	1,150	1,170
深夜	救急車	交通事故	88	8	13
		その他	1,860	223	694
	その他	交通事故	9	2	1
		その他	1,333	152	544
小計	救急車	交通事故	365	76	117
		その他	8,026	1,523	3,443
	その他	交通事故	36	12	22
		その他	5,764	1,382	2,918
合計			14,191	2,993	6,500

イ 科別患者数

(単位:人)

	内科	小児科	外科	整形 外科	脳神経 外科	産婦 人科	その他	合計
さいたま	3,169	4	384	880	501	1,288	7,965	14,191
小川	1,550	2	245	686	218	0	292	2,993
深谷	1,812	1,539	332	387	339	248	1,843	6,500

(5) 病院における医療社会活動

ア さいたま赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
母親学級	13	73	13			令和4年10月～再開
マタニティービクス	0	0	0	0	0	
栄養指導	242	2,966	2,966	0	2,966	
糖尿病教室	0	0	0	0	0	
腎臓病教室	8	21	16	0	16	
乳児検診	166	888	498	0	498	
成人病検診	243	2,091	1,215	996	2,211	
人間ドック(A)	193	283	965	791	1,756	
人間ドック(B)	243	1,623	1,215	996	2,211	
脳ドック	50	129	250	210	460	
主婦検診	196	157	980	804	1,784	
身体検査	243	2,358	1,215	996	2,211	
健康生活支援講習会	0	0	0	0	0	
救急法講習会	6	172	28	0	28	
幼児安全法	0	0	0	0	0	
救命救急講習	2	33	2	0	2	救急部、救急救命士対応
こころのケア研修	1	19	6	0	6	
救護訓練参加	13	143	44	4	48	埼玉SMART訓練、日赤訓練、EMIS入力訓練、さいたま市防災訓練、院内防災訓練等
訪問看護	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	0	0	0	0	
市民公開講座	0	0	0	0	0	
救護活動	36	—	111	0	111	COVMAT、大宮氷川神社雑踏救護、東京オリンピック、フィギュアスケートJAPAN OPEN

イ 小川赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
栄養相談	256	1,331	4	0	4	
糖尿病教室	5	30	31	0	31	新型コロナウイルスの影響で 集合研修の中止あり
生活習慣病予防健診	258	1,249	2,064	0	1,936	
人間ドック	238	1,278	1,904	0	1,912	
脳ドック	81	144	648	0	656	
定期健診	104	696	832	0	1,424	
婦人系検診	144	603	1,152	0	1,128	
アスベスト健診	0	0	0	0	0	
訪問看護 (訪問リハビリ含む)	269	5,340	1,996	37	2,033	
健康生活支援講習 講習会	1	11	11	0	0	
救急法講習会	5	39	39	0	39	
幼児安全法講習会	1	12	12	0	0	
救護訓練参加	6	58	58	0	58	
救護活動	4	5	5	0	5	・ONE TOKYO みんなのク ロカンリレーラン ・小川和紙マラソン ・大宮氷川神社雑踏救護 ・萩日吉神社流鏝馬神事
患者慰安	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	0	0	0	0	

ウ 深谷赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
救護活動	15	多数	7	0	7	新型コロナウイルス 対応他
救護訓練参加	12	多数	28	0	28	
救急法講習会	0	0	0	0	0	
健康生活支援講習 講習会	0	0	0	0	0	
幼児安全法講習会	0	0	0	0	0	
患者慰安	30	多数	20	0	20	七夕飾り クリスマスツリー飾り
無料図書貸し出し	242	0	0	0	0	
集団検診	0	0	0	0	0	
外来ドック	242	694	3	2.5	5.5	
成人病予防検査	0	0	0	0	0	
健康診断	242	122	3	2.5	5.5	
栄養相談	242	2,514	7	0	7	
パパ・ママ学級	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス 感染症拡大のため 休止中
乳児健診	50	275	8	0	8	
アレルギー外来	47	860	8	0	8	
予防接種	77	628	6	0	6	
糖尿病教室	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	2	多数	2	0	2	

(6) 新型コロナウイルス感染症対応

各赤十字病院は、埼玉県が指定する「重点医療機関」として新型コロナウイルス感染症陽性患者の入院治療にあたった。県や保健所の要請に基づき、病院の持つ機能に合わせて、重症患者への集中治療や手術対応、中等症患者の入院収容などを行った。

このほか、発熱患者への検査や診療、地域医療従事者へのワクチン接種にあたる等、新型コロナウイルス感染症に対し、日夜対応をしている。

6 社会福祉活動

2つの特別養護老人ホームでは、地域住民やボランティア等の協力を得て施設の運営をしており、災害時における要援護者支援施設として福祉避難所に指定されている。

また、協力病院と連携した健康管理や理学療法士による身体機能維持に努めながら、利用者一人ひとりの個性を尊重し、自立した生活を営めるよう、質の高いサービス提供を心がけた。

(1) 運営、処遇方針

ア 小川ひなた荘

隣接する小川赤十字病院との連携により、医療依存度の高い利用者に対しても迅速な対応ができる体制を整え、地域高齢者の福祉向上に努めている。

また、多年にわたり社会の進展に寄与してきた利用者が、心身ともに健康で生き甲斐のある生活をしていただくことを願って赤十字の基本原則に立ち、心の通い合う施設づくりを家族、地域の人々とともに築くことを基本方針としている。

【運営・処遇方針】

- 利用者の人権の尊重と心の通い合う介護の実践。
- 利用者、家族への十分な説明と同意によるサービスの提供。
- 地域に根ざした透明性のある施設運営。

イ 彩華園

平成17年に埼玉県から移管を受けて以来、日本赤十字社が運営を行っており、「利己心と闘い、無関心に陥ることなく、人の痛みや苦しみに目を向け、常に想像力をもって行動します。」という精神に基づき、特に下記の3つのケアを重点項目として取り組んでいる。

【運営・処遇方針】

- 認知症ケア
認知症になってもその方らしさが失われることなく生活できるように支援する。認知症介護実践者研修の受講により研鑽を積み認知症ケアを実践する。また、地域の人に対して、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症サポーターを養成する。
- 看取りケア
人生の最後を迎えるにあたり安らかな最期を迎えられるようにご本人やご家族と一緒にあって看取りケアに取り組む。
- 口腔ケア
できる限り口から美味しく食事がとれるように管理栄養士・歯科医師・歯科衛生士ほか、多職種で口腔ケアに取り組む。

(2) 施設概要

(令和5年3月31日現在)

名称	特別養護老人ホーム 小川ひなた荘	特別養護老人ホーム 彩華園
開設年月日	昭和60年4月	平成17年4月
所在地	比企郡小川町小川1548-1	熊谷市上川上266
電話番号	0493-74-2191	048-524-1391
敷地(延)	5,079㎡	17,555㎡
建物(延)	2,016㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て	5,987㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て
実施事業 ※()内は 定員数	介護老人福祉施設(55人)	介護老人福祉施設(88人) 短期入所生活介護事業(10人) 認知症対応型通所介護事業(12人) 居宅介護支援事業
園長名	金井 正裕	平野 裕明
職員数 ※()内は臨時 職員数再掲	園長 1人 事務員 3人(2人) 生活相談員 1人 介護職員 23人(9人) 看護職 5人(3人) 栄養士 2人(1人) 調理員 6人(5人) 医師 2人(非常勤) 介護支援専門員 1人 その他 7人(7人)	園長 1人 事務員 3人(1人) 生活相談員 5人 介護職員 45人(22人) 看護職 3人(1人) 機能訓練指導員 2人(1人) 栄養士 1人 調理員 委託 医師 2人(非常勤) 介護支援専門員 2人 設備員 2人(2人) その他 5人(5人)

(3) 特別養護老人ホーム入所者状況

施設名	小川ひなた荘	彩華園
入退所者数	入所者 14人 退所者 14人	入所者 30人 退所者 31人
平均年齢 (令和5年3月31日現在)	男性 84.5歳 女性 86歳 平均 85.7歳	男性 84.0歳 女性 87.1歳 平均 86.6歳
平均介護度 (令和5年3月31日現在)	男性 4.1 女性 4.5 平均 4.4	男性 3.9 女性 4.0 平均 4.0

(4) 短期入所生活介護事業(ショートステイ)利用状況

施設名	利用実人数	利用延人数	利用延日数	稼働率
彩華園	年間 175人	年間 3,551人	年間 3,551日	97.3%
	月平均 14.5人	月平均 295.9人	月平均 295.9日	

(5) 通所介護事業(デイサービス)利用状況

施設名	利用実人数	平均介護度 (令和4年3月31日現在)	利用延人数	1日平均
彩華園	年間 207人	3.0	年間 2,374人	8.4人
	月平均 17.2人		月平均 197.8人	

※小川ひなた荘は、平成28年度から同事業を廃止。

(6) 居宅介護支援事業所利用状況

施設名	利用延人数	利用サービス延人数	
彩華園	年間 307人 月平均 25.58人	通所介護 226人	通所リハビリ 16人
		訪問看護 34人	訪問入浴 0人
		訪問介護 41人	訪問リハビリ 0人
		短期入所 38人	福祉用具貸与 168人

※小川ひなた荘は、平成28年度から同事業を廃止。

7 血液事業

血液事業の推進にあたり、県内に7か所の献血ルームを開設し街頭で献血協力の呼びかけを行っているほか、献血バスを各地へ運行し、安全性の高い輸血用血液を安定的に確保し、医療機関に供給している。

急速な少子高齢化により全国的に献血協力者が減少する中、令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響もあり、深刻な献血協力者不足となる事態もあったが、献血の重要性を広く知って頂くため、行政と一体になって日々の献血のご協力を呼び掛けたほか、各種キャンペーンを積極的に展開し、献血者数の増加に努めた。

(1)献血状況及び供給状況

ア 献血状況

献血者数は、目標 243,620 人に対し 239,357 人で、内訳は、200mL 献血 11,053 人(前年比 143 人減)、400mL 献血 162,674 人(前年比 2,050 人増)、成分献血 65,630 人(前年比 3,492 人減)であった。総数では 239,357 人(前年比 1,585 人減)、献血量は 104,165L (前年比 99.9%)であった。

(単位:人)

献血種別	令和2年度	令和3年度	令和4年度
200mL	12,943	11,196	11,053
400mL	157,262	160,624	162,674
成分献血	70,242	69,122	65,630
合計	240,447	240,942	239,357

イ 供給状況

供給数は、200mL 献血由来 9,936 本、400mL 献血由来 190,095 本、成分献血由来 45,565 本であり、前年と比較し、200mL 献血由来 1,042 本減、400mL 献血由来 348 本減、成分献血由来 676 本増、全体では前年度の 246,310 本に比べ、714 本減少の 245,596 本であった。

(2)実施事業

埼玉県赤十字血液センター(以下「血液センター」とする)では、令和4年度の献血計画に基づき、安全性の高い輸血用血液の安定的な確保に努めたほか、次の事業を実施した。

ア キャンペーンの実施

「いこう！献血」 [通年]

「高校生献血カード献血推進事業」 [通年]

「みんなの献血」 [4月～5月]

「新社会人献血キャンペーン」 [4月～6月]

「世界献血者デー」 [6月]

彩の国さいたま「愛の血液助け合い運動」 [7月～8月]

- 「初回献血+ラブラッド登録キャンペーン」 [9月～11月]
- 「はたちの献血キャンペーン」 [1月～2月]
- 「シニア60～64初回献血キャンペーン」 [1月～3月]
- 「卒業献血キャンペーン」 [2月～4月]
- 「大宮アルディージャ献血応援キャンペーン」 [5月、6月、7月、8月、9月、12月]

イ イベント等の開催

- 「彩の国さいたま愛の血液助け合いの集い」 [7月]
- 「クリスマス献血キャンペーン2022（協力：埼玉西武ライオンズ）」 [12月]

ウ その他の取組み

- 血液に関する出前講座 [通年]
- #彩の国けんけつNEWS[通年]
- 献血推進ポスターコンクールの実施 [7月]

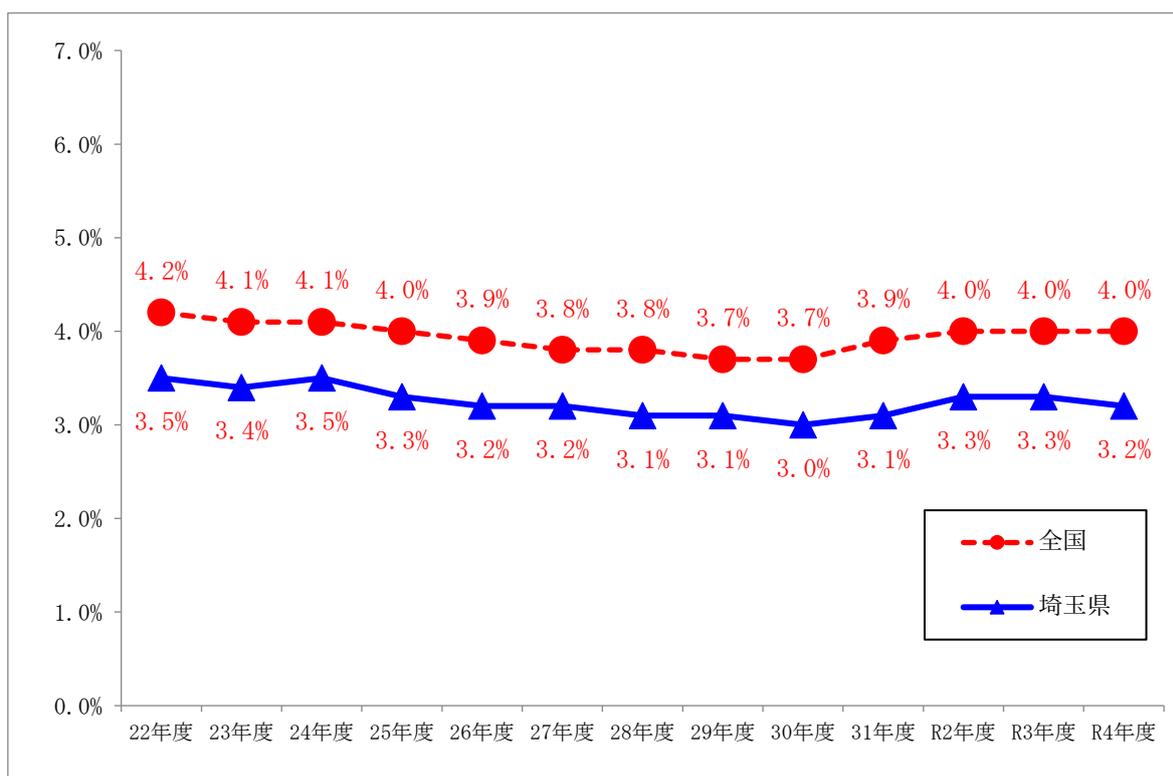
(3)献血状況

ア 令和4年度献血者数

埼玉県			全国		
献血者数	対前年比	献血率	献血者数	対前年比	献血率
239,357人	99.3%	3.2%	5,008,741人	99.1%	4.0%

※献血率…1年間の献血者数を総人口で割ったもの

イ 献血率の推移



ウ 献血者数・献血率

献血者数				対前年比 伸び率	献血率	献血目標数	目標達成率
239,357人				99.3%	3.2%	243,620人	98.3%
内 訳	200mL	11,053人	4.6%				
	400mL	162,674人	68.0%				
	成分	65,630人	27.4%				

エ 受入施設別献血者数

種 別	血液センター		移動採血		献血ルーム		合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
200mL	-	-	6,261人	56.5%	4,792人	43.4%	11,053人	4.6%
400mL	-	-	67,792人	41.7%	94,882人	58.3%	162,674人	68.0%
成分	-	-	0人	0.0%	65,630人	100.0%	65,630人	27.4%
合計	-	-	74,053人	30.9%	165,304人	69.1%	239,357人	100.0%

※血液センターでの献血の実施はなかった。

オ 受入施設別平均献血者数

受入施設名	献血者数 A	施設(台)数 B	1施設(台)	稼働日	1日(台)
			平均献血数	(台)数	平均献血者数
			A/B	C	A/C
血液センター	-	-	-	-	-
移動採血車	74,053人	10	7,405.3人	1,655	44.7人
献血ルーム	165,304人	7	23,614.9人	2,423	68.2人

※血液センターでの献血の実施はなかった。

カ 献血ルームの献血状況

区分	献血者数(人)				稼働 日数	1日平均献血者数(人)			
	200mL	400mL	成分	計		200mL	400mL	成分	計
所沢 献血ルーム	411	8,703	10,121	19,235	361	1.1	24.1	28.0	53.3
川越 献血ルーム	957	14,275	11,785	27,017	365	2.6	39.1	32.3	74.0
鴻巣 献血ルーム	938	14,532	0	15,470	292	3.2	49.8	0.0	53.0
大宮献血ルーム ウエスト	1,046	23,298	20,715	45,059	365	2.9	63.8	56.8	123.4
越谷 献血ルーム	650	16,580	9,686	26,916	365	1.8	45.4	26.5	73.7
熊谷駅 献血ルーム	378	6,286	5,015	11,679	313	1.2	20.1	16.0	37.3
川口駅 献血ルーム	412	11,208	8,308	19,928	362	1.1	31.0	23.0	55.0

キ 年齢・性別・献血者数

(単位:人)

種別	性別	年代						合計
		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	
200mL	男	1,405	109	41	24	64	28	1,671
	女	3,151	1,736	829	1,233	1,759	674	9,382
	計	4,556	1,845	870	1,257	1,823	702	11,053
400mL	男	4,144	15,618	18,171	29,902	36,237	14,325	118,397
	女	1,482	7,948	6,783	10,068	13,448	4,548	44,277
	計	5,626	23,566	24,954	39,970	49,685	18,873	162,674
成分	男	276	2,719	5,389	13,104	18,253	8,488	48,229
	女	202	2,073	2,680	4,739	5,667	2,040	17,401
	計	478	4,792	8,069	17,843	23,920	10,528	65,630
合計	男	5,825	18,446	23,601	43,030	54,554	22,841	168,297
	女	4,835	11,757	10,292	16,040	20,874	7,262	71,060
	計	10,660	30,203	33,893	59,070	75,428	30,103	239,357

8 国際活動

世界的な人道支援団体である赤十字社の一員として、武力紛争、難民問題、自然災害など世界各地で起こる危機に対し、赤十字国際委員会(ICRC)や国際赤十字・赤新月社連盟の調整の下、緊急救援から長期にわたる人道支援まで多岐にわたる活動に積極的に取り組んでいる。

当支部では、東アジア地域において積極的な交流事業を実施しており、青少年やボランティアの育成等に努めた。

(1) 国際救援・開発協力事業

ア 北関東四県(埼玉・茨城・栃木・群馬)支部共同支援事業

・ Bangladesh 南部避難民保健医療支援事業への支援

・ Indonesia コミュニティ防災強化事業への支援

・ 海外赤十字・赤新月社支援事業にかかるオンライン研修会(Bangladesh 南部避難民保健医療支援事業オンライン研修会)

イ NHK海外たすけあいキャンペーンを実施 [12月1日～25日]

(2) 国際交流・派遣事業

ア 大韓赤十字社京畿道支社との交流事業 [9月24日～27日] 中止

※毎年実施している大韓赤十字社京畿道支社をはじめとした各国赤十字社との交流事業は、新型コロナウイルス感染症による渡航制限により中止とした。代替事業として、大韓赤十字社京畿道支社とのオンライン交流会やプレゼント等の交換を行った。

(3) 消息不明者の安否調査への協力

本社(国際部)からの依頼は0件。

(4) 国際活動関係の研修・会議

国際活動関係業務の推進及び知識・技術の向上を図るため、各種研修会や会議を開催した。

ア 研修会

名称	日程	開催場所等	参加人数等
Bangladesh 南部避難民保健医療支援事業オンライン研修会	1月29日	オンライン	本県支部青少年赤十字加盟校メンバー・赤十字ボランティア等 62人
国際人道法セミナー	2月15日～17日	オンライン	支部職員 1人
支部職員対象スキルアップ研修「国際人道法について」	3月13日	埼玉県支部	支部職員 22人

イ 会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
日本赤十字社北関東四県支部国際事業担当課長会議(第2回)	5月10日	オンライン	支部職員 2人
日本赤十字社北関東四県支部国際事業担当課長会議(第2回)	3月16日	埼玉県支部	支部職員 3人

9 看護師養成

令和2年4月に日本赤十字看護大学の太田キャンパスとして開設された、日本赤十字看護大学さいたま看護学部(運営:学校法人日本赤十字学園)では、日本赤十字社の使命である救援・救護活動を実効的に展開できる看護師を養成している。

今後の医療環境を見通し、未来に向けてリーダーとして役割が果たせる人材育成を目指しており、この運営協力のため、講師派遣及び資金助成(10,000,000円)を行った。

10 赤十字思想の普及、広報活動の充実

令和4年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止をしながらであるが、赤十字の理念や活動について広く県民の理解・協力をいただくため、イベントの開催・出展を徐々に再開した。また、SNSでの発信にも力を入れ、従来用いていた facebook・YouTube に加え、Twitter・Instagram のアカウントも開設した。

(1) キャンペーン、イベント等の開催・参加

ア 令和4年度埼玉県赤十字大会の開催

[11月19日:さいたま市文化センター大ホール(さいたま市南区)]

埼玉県支部創立135周年を記念し、赤十字活動に多大な貢献をされた方々に対し、感謝の意を表すとともに、赤十字事業の一層の普及と発展を目指し開催した。

また、青少年赤十字創設100周年記念プログラムとして落語家の林家たい平氏による記念講演や、青少年赤十字コンクールを行った。

イ 赤十字運動月間におけるイベント

街頭PR活動[5月9日: JR浦和駅東口(さいたま市浦和区)]

JR浦和駅東口において、事業紹介パネル等を用いて、赤十字運動月間開始をPRした。

ウ 赤十字活動PRイベントplus献血の開催[11月13日:イオンモール羽生(羽生市)]

主に若年層に対する赤十字活動の周知を図るため、埼玉県赤十字血液センターと共同でPRイベントを開催した。当支部は救急法の体験ブースを設けた。また、災害救護用資機材や避難所で使用されるダンボールベッドやトイレ、防災グッズの見学ブースを設け、ボランティアである埼玉安全赤十字奉仕団の協力のもと多くの来場者を迎えた。埼玉県赤十字血液センターは、店舗駐車場に献血会場を設け献血への協力の呼びかけなどを実施した。

エ キッズわくわくワークへの出展[9月17日:上尾ハウジングステージ(上尾市)]

[10月16日:モラージュ菖蒲ハウジングステージ(久喜市)]

子育て世代への赤十字活動の理解促進を図るため、お仕事体験イベントに初めて参加した。子供用救護服・ナース服を着て救急法を体験するブースや救護車両との写真が撮れるブースを設け、両日あわせて400名を超える親子にお越しいただいた。

オ 第65回殉職救護員追悼式の開催[5月26日:日本赤十字社埼玉県支部]

先の大戦(第2次世界大戦)において殉職された32名の赤十字救護員の御霊に対し、日本赤十字社看護師同方会埼玉県支部との共催で追悼式を開催した。当日は、戦時救護の史料展も同時に開催し、ご遺族、看護学生、関係者の計135人が出席した。

カ その他

例年実施している以下の事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため全て中止することとなった。

- 赤十字ふれあい広場[5月:イオンモール羽生(羽生市)]

(2) テレビ・新聞等での広報

赤十字会員増強運動月間や防災啓発などを中心に、テレビでスポットCMを以下のとおり放送した。地元新聞紙をはじめ、市町村広報紙に事業の紹介を掲載した。

広報媒体	回数等	備考
テレビ埼玉	23回	5月 30秒:23回
埼玉新聞	2回	5月、9月

(3) 印刷物等の広報資材の作製、配布

名称	作製目的・主な内容	主な配布(視聴)対象
活動資金募集用チラシ (各戸配布用・自治会、町内会回覧用)	赤十字活動のPRと会員募集 (1,086,600部)	一般、地区・分区
振込用紙付きリーフレット	赤十字活動のPRと会員募集 (15,000部)	一般
活動紹介用パンフレット 「赤十字のしくみと活動」	赤十字活動のPRと会員募集 (400部) ※本社作製	一般、地区・分区、 赤十字職員
赤十字運動PRポスター	赤十字活動のPRと会員募集 (14,600枚) ※本社作製	地区・分区、管内施設他
プチャオル	会員募集・イベント時のAED等体験 者に配布など (作製100枚)	一般
クリアファイル	会員募集・イベント配布など (作製3,000枚)	一般
ボールペン	会員募集など (作製150本)	一般
ポケットティッシュ	イベント配布など (作製8,000個)	一般
カットバン	会員募集・イベント配布など (作製4,500個)	一般
日赤さいたま	埼玉県支部広報誌 34,000部 (年2回発行 8月、3月)	一般、赤十字会員、赤十字 ボランティア、赤十字職 員、地区・分区他
赤十字NEWS	日本赤十字社広報紙 (4,100部) ※本社作製	一般、赤十字会員、赤十字 ボランティア、地区・分区、地 域奉仕団委員長他
令和2年度事業報告書	支部事業報告書 (600部)	一般、支部役員・評議員、 地区・分区、管内施設他
令和2年度事業概要	支部事業報告書(詳細版) (PDFのみ作製)	地区・分区、管内施設他
活動紹介DVD	日本赤十字社活動紹介DVD 「赤十字この一年 2021年度」 (10本複製) ※本社作製 データを全地区・分区に提供 (DVDについては希望した3地区に 提供)	地区・分区、管内施設他 ※関係先へ貸出可能
支部紹介パンフレット 「埼玉の赤十字」	赤十字活動のPRと会員募集 (43,500部)	一般、地区・分区

その他の配布資材：

- 埼玉県赤十字血液センターと協力し、献血ルームや献血バスにおける献血協力者に、赤十字事業紹介リーフレットを配布した(6,000部)。
- 赤十字講習受講者に、赤十字事業紹介リーフレットを配布した。
- 領収書発送時に、「活動資金協力御礼チラシ」や「事業紹介チラシ」などを同封し、赤十字活動の周知に努めた。
- 地区区分を通じて、自治会・町会などの県民に、「赤十字活動報告チラシ」を配布・掲示し、赤十字の活動資金に協力いただいている方々に対し、赤十字活動の報告を行った。
- 令和4年「NHK海外たすけあい」に関し、さいたま放送局における寄付協力者に対して赤十字国際活動(紛争等による避難民への支援や保健医療衛生向上のための活動など)の紹介リーフレット及び「NHK海外たすけあい」協力依頼文書を送付した。

(4) その他の広報

ア 支部ホームページ

赤十字活動の動きを支援者に伝えるため、常に最新の情報を掲載した。

イ SNSによるPR

支援の裾野を広げるため、従来のFacebook・YouTubeに加え、Twitter・Instagramの運用を開始し、発信力・拡散力を強化した。情報が届いた人数を示すリーチ数は、前年度比で1,100%を超える伸びとなり、多くの方に伝わる広報を実現した。災害対応や実施事業の報告のほか、生活に役立つ情報を発信し、身近なところにある赤十字活動をPRするツールとしてSNSを活用した。

ウ YouTubeチャンネルによるPR

インターネット上の動画配信サービス「YouTube」を活用し、救護訓練の様子や暮らしに役立つ講習普及関連の動画を制作・配信した。(令和5年度累計再生回数 92,061回再生)

エ マスメディアへの広報

年間を通じて積極的なプレスリリースを行った。リリース件数は13件、報道機関からの露出はテレビ3件、ラジオ2件、新聞9件、インターネットテレビ1件。

オ 大型デジタルサイネージでの広報

ウクライナ人道危機の激化により国際人道法への関心が高まったことから、赤十字国際委員会(ICRC)が作成した「戦争とはいえやりたい放題は許されない」というメッセージ性の強い動画を、大宮駅西口アルシェビルの大型デジタルサイネージで放映した。このPRは、コカ・コーラ・ボトラーズジャパンの協力により無償で実施したもの。渋谷スクランブル交差点・横浜市営地下鉄に次いで国内では3例目の実施となった。

カ さいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク」の受入

中学生の勤労観、職業観をはぐくみ、学ぶことの意義を考えることをねらいとした同事業は、さいたま市教育委員会からの依頼により受入れている。1~3日間で実施した体験では、救護・講習・青少年赤十字・ボランティアなどの事業体験を実施し、赤十字への理解促進にもつなげている。

(令和4年度受入校)5校20人

- ・さいたま市立木崎中学校 ・さいたま市立白幡中学校 ・さいたま市立田島中学校
 - ・さいたま市立春野中学校※ ・さいたま市立七里中学校※
- ※2校は、見沼区地区の業務体験の一環として、一部の時間受入

キ その他

- 赤十字運動月間中(5月1日～31日)に、JR浦和駅にご協力いただき、赤十字活動のPRポスター を掲示した。
- 地区・分区にて懸垂幕を掲げPRを行った。[5月]
- 年間を通じて、市町村及び防災関係機関等が主催するイベント、防災訓練等に参加し、災害救護活動パネルや救援物資等の展示、各種広報資材の配布等を行い、赤十字思想の普及啓発に努めた。
- 赤十字会員増強運動における地区・分区の会議・説明会等に支部職員の派遣を行った。
- 職員の広報力向上のため、埼玉新聞社から講師を招き、広報研修会を実施した。
- 誤った赤十字標章の使用に関する通報に対しては、事業者にジュネーブ条約および国内法についての理解を求めた上で、マークの差し替えなど適正な運用を依頼する対応をとった。

11 会員増強運動

令和4年度の支部事業の財源となる「会員の増強」及び「活動資金の増収」については、5月を強化月間として、「赤十字会員増強運動」を展開し、その拡大・充実に努めた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえ、増強運動の実施時期については各市区町村の感染状況等を考慮しながら進めることとなり、募集方法などについての変更も行われた。

地区長・分区長をはじめ、事務委員等関係職員、協賛委員、自治会・町内会の役員、赤十字奉仕団、日本赤十字社埼玉県有功会等の積極的な協力を支えられ、実施することができた。

(1) 活動資金募集実績

令和4年度は、一般社資516,000,000円、法人社資42,000,000円、合計558,000,000円を目標額として、この達成に努力した結果、収納実績額685,366,361円、達成率122.8%となった。

[令和5年3月31日現在()内昨年度比較]

種別		目標額	実績額	達成率
一般	市地区	363,711,300円 (373,036,900)	302,828,571円 (305,168,896)	83.3% (81.8%)
	(郡)地区	26,288,700円 (26,963,100)	34,715,190円 (35,320,784)	132.1% (131.0%)
	特別活動資金 (個人・団体)	126,000,000円 (118,000,000)	293,265,993円 (382,315,919)	232.8% (324.0%)
	小計	516,000,000円 (518,000,000)	630,809,754円 (722,805,599)	122.2% (139.5%)
法人		42,000,000円 (40,000,000)	54,556,607円 (73,254,907)	129.9% (183.1%)
計		558,000,000円 (558,000,000)	685,366,361円 (796,060,506)	122.8% (142.7%)

(2) 会員数伸長状況(過去5年間)

(単位:人・社)

区分 年度	会員数(2,000円以上)	
	個人・団体	法人
令和4年度	6,271	1,895
令和3年度	6,643	2,189
令和2年度	5,991	2,184
令和元年度	4,125	2,106
平成30年度	3,488	1,759

(3) 活動資金募集実績額伸長状況(過去5年間)

年度	自治会・町会等		特別社資(個人・団体・法人)		合計	
	金額	伸長率	金額	伸長率	金額	伸長率
令和4年度	337,573,761円	99.1%	347,792,600円	76.3%	685,366,361円	86.0%
令和3年度	340,489,680円	100.2%	455,570,826円	154.5%	796,060,506円	125.5%
令和2年度	339,734,185円	91.9%	294,848,677円	148.4%	634,582,862円	111.6%
令和元年度	369,501,848円	98.3%	198,628,168円	65.8%	568,130,016円	83.8%
平成30年度	375,559,615円	97.9%	301,627,741円	89.7%	677,187,356円	94.0%

(4) 指定事業活動資金・特定寄付金

区分		目標額	実績額	達成率	件数
個人	指定事業活動資金	32,000,000円	32,000,000円	100.0%	59件
法人		34,000,000円	27,073,031円	79.6%	114件
計		66,000,000円	59,073,031円	89.5%	173件

(5) 指定事業活動資金による事業

ア 個人指定事業社資

総務大臣の承認を得て行う個人に対する「指定事業社資」の募集は、59件 32,000,000円(上記(4)参照)の成果をあげた。

この事業資金を基に実施した事業の実績は次のとおりである。

使途内訳	金額	使途内訳	金額
災害救護設備の整備	17,299,000円	災害救護物資の整備	2,800,000円
採血受入機関の整備	0円	救急医療体制の整備	10,000,000円
支部国際活動基金積立金	0円	募集事務費	1,901,000円

イ 法人指定事業社資

財務大臣の承認を得て行う特別事業の財源であり、法人(会社等)に対する「指定事業社資」の募集は、114件 27,073,031円(上記(4)参照)のとおりである。

この事業資金を基に実施した事業の実績は次のとおりである。

使途内訳	金額
災害救護設備の整備	25,453,031円
社資募集事務費	1,620,000円

(6) 地区・分区担当職員を対象とした研修会等の開催

ア 地区・分区新任事務委員研修会 [4月15日:Zoomによるオンライン開催]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、WEB会議ツール「Zoom」を使用し、オンライン形式にて開催した。

<送付内容>

- 地区・分区への依頼事項等
- 令和4年度事業計画書

- 令和4年度埼玉県支部組織図
- 令和4年度赤十字会員増強運動実施資料
- 動画での救護倉庫の紹介

※赤十字担当職員の手引き(改訂版)及び赤十字の仕組みと活動(令和4年度版冊子)については、事前に郵送等にて配付。

イ 地区・分区事務担当者研修会

[11月30日: Zoomによるオンライン参加と埼玉県支部での対面参加のハイブリッド開催]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、WEB会議ツール「Zoom」を使用し、オンライン形式と埼玉県支部に参集しての対面参加のハイブリッド形式にて開催した。

<研修内容>

- ① 報告事項
 - 令和4年度活動資金募集進捗状況
 - 各種義援金・救援金受付状況
- ② 研修事項
 - 赤十字防災セミナー体験
 - 赤十字救急法講習体験
- ③ 連絡事項
- ④ 質疑応答

ウ 地区・分区業務主管課長会議 [1月31日: Zoomによるオンライン開催]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、WEB会議ツール「Zoom」を使用し、オンライン形式にて開催した。

<会議内容>

- ① 令和4年度支部事業実施状況
- ② 令和4年度活動資金募集状況
- ③ 令和5年度支部事業計画及び予算(案)
- ④ 令和5年度会員増強運動活動資金募集目標額(案)
- ⑤ 連絡事項

(7) 赤十字会員増強運動地区会議(説明会)への職員派遣 (計16地区、19会場)

地区名	行事名	会場	派遣職員数
さいたま市 自治会連合会	さいたま市自治会連合会理事会	大宮区役所 6階会議室	0人
ふじみ野市	令和4年度日本赤十字社会員増強運動説明会	ふじみ野市役所	0人
草加市	令和4年度日本赤十字社活動資金募集説明会	草加市高砂コミュニティセンター	1人
越谷市	令和4年度赤十字会員増強運動説明会	越谷市中央市民会館	1人
志木市	令和4年度志木市地区協賛委員会	志木市役所	中止
南区	令和4年度さいたま市南区地区運営協議会	南区役所	1人
八潮市	令和4年度赤十字会員増強運動説明会	八潮メセナ	1人
熊谷市	令和4年度赤十字会員増強運動会議	熊谷市緑化センター	1人

羽生市	羽生市社会福祉協議会支部長会	羽生市役所	0人
深谷市	令和4年度深谷市地区運営協議会	深谷市ボランティア交流センター	1人
	令和4年度赤十字活動資金募集会議	深谷公民館	1人
見沼区	令和4年度さいたま市見沼区地区運営協議会	見沼区役所	1人
春日部市	令和4年度日本赤十字社会費説明会	庄和市民センター	1人
所沢市	令和4年度所沢市自治連合会会長会	所沢市役所	1人
	令和4年度松井自治連合会総会	松井まちづくりセンター	1人
	令和4年度富岡自治連合会	富岡まちづくりセンター	1人
和光市	令和4年度日本赤十字埼玉県支部事業資金募集説明会	和光市福祉総合会館	1人
戸田市	令和4年度赤十字活動資金募集会議	戸田市役所	2人
白岡市	令和4年度第2回白岡市行政区長会	保健福祉総合センター	2人

※派遣人数が「0人」の会場は、新型コロナウイルス感染症による規模の縮小等により、実施はしたが支部職員の派遣依頼がなかった。

(8) 様々な方法による活動資金募集の強化

ア ダイレクトメールの強化

- ① データ会社のリストを利用して、企業代表者・業界・業種・決算月などを選定してのダイレクトメールの送付を実施。
- ② クレジットカード会社の会員データにダイレクトメールの送付を実施。

イ 活動資金用募金箱の設置の推進

県内法人等に向け、活動資金用募金箱の設置を推進し、法人5件に対し、募金箱を新規に設置した。

ウ 県内の赤十字支援型自動販売機設置の推進

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、東京キリンビバレッジサービス株式会社、アサヒ飲料販売株式会社、株式会社ジャパンビバレッジホールディングス、株式会社伊藤園、FVジャパン株式会社、株式会社八洋、株式会社ユニマツライフ、サントリービバレッジサービス株式会社、ダイドードリンコ株式会社、イオンデイライト株式会社、北関東ペプシコーラ販売株式会社及び株式会社サンエーの協力を得て普及を推進し、延べ97台(新規6台)の設置となった

(令和4年度実績額 1,398,464円)。

※赤十字支援型自動販売機:売上の一部を赤十字活動資金として寄付するシステム。

エ リサイクル寄付「きしゃぼん」の普及・推進

不要になった本や貴金属、ゲームなどの買い取り額が赤十字活動資金となる「きしゃぼん」を、地区・分区や有功会員等に周知し、寄付方法の周知に努めた。

オ SDGsを活用した企業との連携を強化

埼玉県SDGsパートナーに登録し、企業との連携した活動資金募集の強化を実施した。

(9)その他

ア 遺言者の遺志による遺贈

遺贈	0件	0円
----	----	----

イ その他の社資募集

銀行口座自動振替	18,764,000円
クレジットカード	29,366,288円

12 日本赤十字社埼玉県有功会

日本赤十字社埼玉県有功会は、昭和47年5月に結成され、現在386人(令和5年3月31日現在)の会員を擁し、会員相互の親睦を図るとともに、各般にわたる支部事業推進の基盤となる財政面での支援を行っている。

令和4年度に実施した事業は次のとおりである。

(1) 特別活動資金募集に対する協力(過去5年間) ※使途指定寄付を含む。

項目 年度	件数	金額
令和4年度	336件	35,672,223円
令和3年度	349件	30,950,666円
令和2年度	289件	28,522,741円
令和元年度	299件	32,740,226円
平成30年度	245件	40,904,079円

(2) 事業等

ア 常任委員会 [令和4年5月30日(月):日本赤十字社埼玉県支部]

- 内 容: ① 令和3年度事業報告及び収支決算報告について
② 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
③ 令和4年度役員の選出(案)について
④ 第51回 50周年記念総会の開催について
⑤ 国内日帰り研修の開催について
⑥ 健康管理支援事業について

イ 総会 [令和4年7月25日:ホテルブリランテ武蔵野(さいたま市中央区)]

<内容>

第1部 総会

- ① 令和3年度事業報告及び収支決算報告について
② 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
③ 令和4年度日本赤十字社埼玉県有功会役員選出

第2部 講演

講演者 赤十字国際委員会 駐日代表部 広報統括官 眞壁 仁美

演 題 「紛争地で“人間の尊厳”に寄り添う赤十字

～ウクライナ人道危機での活動から」

ウ 新春のつどい[令和5年1月17日:ホテルブリランテ武蔵野]【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

エ 令和4年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会 [10月6日:大阪府大阪市]

オ 令和4年度有功会国内日帰り研修[10月20日:首都圏外郭放水路を学ぶ(埼玉県)]

カ 第42回埼玉県有功会海外親善訪問【中止】

キ 「ウクライナ人道危機」への協力

ク 青少年赤十字創設100周年大会への参画

100周年記念として実施したコンクールの受賞者に、記念品として赤十字の防災グッズセットを贈呈した。

ケ 健康管理支援事業の実施

赤十字病院で健康診断(人間ドックを含む)を受けた際に、費用の一部を補助し、会員の健康管理を促すことを目的に実施した。

コ 殉職救護員追悼式への供花

サ 令和4年度「NHK海外たすけあい」への協力

シ 慶弔

叙勲褒章受章者への記念品の贈呈、他界された名の遺徳を偲び、霊前に弔意を表した。

(3) 組織等

ア 主な役員(令和5年3月31日現在)

会長	利根 忠博	
副会長	西島 昭三	田中 憲次郎
会計	中村 昭作	杉田 政男
監事	小野寺 貫一	加藤 昭夫
幹事	森尾 博之	

他常任委員8名

イ 支会

(令和5年3月31日現在)

支会名	結成年月日	会員数	支会名	結成年月日	会員数
所沢市支会	S53.3.13	休会中	蕨市支会	S53.3.31	休会中
秩父市支会	S53.4.17	休会中	川口市支会	S53.7.14	休会中
上尾市支会	S54.3.17	30名	東松山市支会	S54.6.12	休会中
深谷市支会	S59.4.1	48名			

13 評議員会

(1) 評議員会の開催

令和4年度評議員会を次のとおり実施した。

ア 第1回 [令和4年4月26日～5月13日:文書審議]

第1号議案 副支部長の退任に伴う選任に関する件

イ 第2回 [令和4年6月8日]

第1号議案 令和3年度 日本赤十字社埼玉県支部事業報告及び一般会計歳入歳出決算に関する件

第2号議案 令和3年度 医療施設特別会計歳入歳出決算に関する件

(さいたま・小川・深谷各赤十字社病院)

第3号議案 令和3年度 社会福祉施設特別会計歳入歳出決算に関する件

(特別養護老人ホーム小川ひなた荘・彩華園)

ウ 第3回 [令和4年8月15日～26日:文書審議]

第1号議案 支部長の選出に関する件

第2号議案 副支部長の選出に関する件

エ 第4回 [令和5年2月14日]

第1号議案 令和5年度 日本赤十字社埼玉県支部事業計画(案)及び一般会計歳入歳出予算(案)に関する件

第2号議案 令和5年度 医療施設特別会計歳入歳出予算(案)に関する件

(さいたま・小川・深谷各赤十字社病院)

第3号議案 令和5年度 社会福祉施設特別会計歳入歳出予算(案)に関する件

(特別養護老人ホーム小川ひなた荘・彩華園)

第4号議案 日本赤十字社埼玉県支部監査委員の選出に関する件

Ⅱ 会計報告

1 一般会計

(1) 一般会計歳入歳出決算書

ア 埼玉県支部

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
社資収入	721,769,959円	災害救護事業費	57,455,754円
委託金等収入	0	社会活動費	89,848,146
補助金及び交付金収入	11,087,438	国際活動費	37,403,598
災害義援金預り金収入	0	指定事業地方振興費	68,403,598
繰入金収入	41,403,598	地区分区交付金支出	54,386,778
資産収入	450,000	社業振興費	67,753,058
雑収入	7,071,045	基盤整備交付金・補助金支出	99,066,630
前年度繰越金	66,917,289	積立金支出	98,820,534
		総務管理費	99,776,523
		資産取得及び資産管理費	7,342,049
		本社送納金支出	93,943,999
歳入合計	848,699,329	歳出合計	774,200,667
		歳入歳出差引残額 (翌年度繰越金)	74,498,662

2 特別会計

(1)医療施設特別会計歳入歳出決算書

ア さいたま赤十字病院

(ア)収益的収入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	30,602,585,187円	医業費用	31,732,699,449円
医業外収益	3,493,456,239	医業外費用	481,044,364
医療社会事業収益	381,000	医療奉仕費用	256,450,592
付帯事業収益	0	付帯事業費用	0
特別利益	518,253	特別損失	7,422,778
		法人税等	14,178,181
計	34,096,940,679	計	32,491,795,364
収入支出差引額	1,605,145,315		

(イ)資本的収入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	235,475,510円	固定資産	1,978,816,571円
資産売却収入		借入金等償還	698,392,000
その他資本収入	2,441,733,061		
計	2,677,208,571	計	2,677,208,571
収入支出差引額	0		

イ 小川赤十字病院

(ア)収益的収入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	5,455,359,248円	医業費用	5,968,634,985円
医業外収益	1,268,650,616	医業外費用	9,794,737
医療社会事業収益	164,133	医療奉仕費用	113,073,541
付帯事業収益	52,734,341	付帯事業費用	64,090,216
特別利益	207,086	特別損失	1,803,234
		法人税等	0
計	6,777,115,424	計	6,157,396,713
収入支出差引額	619,718,711		

(イ)資本的収入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	51,992,382円	固定資産	191,909,098円
資産売却収入	0	借入金等償還	221,339,505
その他資本収入	361,256,221		
計	413,248,603	計	413,248,603
収入支出差引額	0		

ウ 深谷赤十字病院

(ア)収益的収入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	13,897,789,757円	医業費用	14,682,276,992円
医業外収益	1,594,565,184	医業外費用	57,207,779
医療社会事業収益	977,301	医療奉仕費用	158,378,904
付帯事業収益	40,298,268	付帯事業費用	56,860,037
特別利益	556,185	特別損失	1,859,116
		法人税等	0
計	15,534,186,695	計	14,956,582,828
収入支出差引額	577,603,867		

(イ)資本的収入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	166,603,000円	固定資産	803,747,484円
資産売却収入	0	借入金等償還	324,972,816
その他資本収入	962,117,300		
計	1,128,720,300	計	1,128,720,300
収入支出差引額	0		

(2)社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

ア 特別養護老人ホーム小川ひなた荘

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
事業活動による収入		事業活動による支出	
介護保険事業収入	231,629,330円	人件費支出	193,824,897円
経常経費寄附金収入	275,616	事業費支出	42,780,058
その他の収入	2,864,482	事務費支出	16,873,331
		支払利息支出	49,063
施設整備等による収入		施設整備等による支出	
施設整備等補助金収入	6,416,000	固定資産取得支出	19,805,500
		ファイナンス・リース債務の 返済支出	859,647
その他の活動による収入		その他の活動による支出	
他会計繰入金収入	15,361,840	その他の活動による支出	8,180,292
その他の活動による収入	18,575,200		
前期末支払資金残高	58,392,602		
計	333,515,070	計	282,372,788
収入支出差引額	51,142,282		

イ 特別養護老人ホーム彩華園

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
事業活動による収入		事業活動による支出	
介護保険事業収入	443,874,731円	人件費支出	331,673,859円
経常経費寄附金収入	10,000	事業費支出	69,355,981
その他の収入	515,308	事務費支出	69,806,179
		支払利息支出	41,883
施設整備等による収入		施設整備等による支出	
固定資産売却収入	0	固定資産取得支出	29,391,584
施設整備等補助金収入	11,760,000	ファイナンス・リース債務の 返済支出	3,185,730
その他の活動による収入		その他の活動による支出	
積立資産取崩し収入	2,500,000	その他の活動による支出	13,298,590
他会計繰入金収入	22,331,374		
その他の活動による収入	6,371,250		
前期末支払資金残高	110,315,978		
計	597,678,641	計	516,753,806
収入支出差引額	80,924,835		

※運営費として20,751,000円助成

Ⅲ 資 料

1 埼玉県支部役職員名簿

(1) 支部役職員 (令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職
支 部 長	大野 元裕	埼玉県知事
副支部長	富岡 勝則	埼玉県市長会会長・朝霞市長
	井上 健次	埼玉県町村会会長・毛呂山町長
	金子 直史	埼玉県福祉部長
監査委員	西島 昭三	元日本赤十字社埼玉県支部副支部長
	小山 彰	公認会計士
参 与	横田 淳一	埼玉県福祉部福祉政策課長
	播磨 高志	埼玉県福祉部高齢者福祉課長
	坂 行正	埼玉県保健医療部医療整備課長
	岡地 哲也	埼玉県保健医療部薬務課長

(2) 支部職員 (令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	主な職務	
事務局長	森尾 博之	事務局統括業務	
事務局次長	欠		
調整監	大地山 正明	事務局長補佐	
総務部	総務部長	椎名 泰久	総務部統括
	総務課長	* 部長兼務	評議員会、儀式及び慶弔、情報公開、人事労務、職員研修、赤十字標章、広報宣伝
	企画財務課長	梅澤 典弘	事業計画(中期・単年度)、事業報告、出納事務、不動産・物品の管理、活動資金・寄付金・義援金の出納、医療事業、血液事業、社会福祉施設事業、看護師養成事業、施設監査
事業部	事業部長	田沼 憲一	事業部統括
	振興課長	* 部長兼務	会員募集、活動資金募集、会員管理、有功会、一日赤十字、国内外義援金取扱
	奉仕・青少年課長	永瀬 公彦	赤十字ボランティア(赤十字奉仕団)、青少年赤十字、国際交流事業、国際救援・開発協力事業活動、赤十字防災教育事業、社会福祉事業
	救護・講習課長	村山 卓也	災害救護、救援物資、防災ボランティア、安否調査、安全講習事業、保健指導、臨時救護

(3) 本社代議員 (令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職
代議員	西島 昭三	元日本赤十字社埼玉県支部副支部長
	田中 憲次郎	会社役員
	関根 正昌	会社役員
	利根 忠博	(一社)埼玉県経営者協会 名誉会長・日本赤十字社理事(R3.4.1~)
	小野寺 貫一	会社役員
	黒瀬 節子	赤十字奉仕団 支部指導講師

(4) 評議員

(令和5年3月31日現在)

氏名	主な公職	氏名	主な公職
岡田 悟	馬宮地区社会福祉協議会会長	並木 傑	新座市長
山崎 秀雄	さいたま市北区日進地区社会福祉協議会会長	小野 克典	桶川市長
松本 敏雄	さいたま市自治会連合会会長	梅田 修一	久喜市長
村田 博	大砂土東地区社会福祉協議会会長	三宮 幸雄	北本市長
富澤 洋	さいたま市中央区自治会連合会会長	香山 庸子	八潮市健康福祉部長
井田 光一	さいたま市桜区土合第二自治会連合会会長	星野 光弘	富士見市長
石井 桂太郎	さいたま市浦和区自治会連合会副会長	木津 雅晟	三郷市長
細淵 紀雄	さいたま市南区武蔵浦和地区自治会連合会会長	山口 京子	蓮田市長
鈴木 甫	さいたま市緑区尾間木地区自治会連合会会長	石川 清	坂戸市長
三次 宣夫	さいたま市岩槻区自治会連合会会長	木村 純夫	幸手市長
佐藤 敦弘	川越市社会福祉協議会事務局長	齊藤 芳久	鶴ヶ島市長
近藤 正広	川越市福祉部長	谷ヶ崎 照雄	日高市長
植原 利和	熊谷市福祉部長	中原 恵人	吉川市長
坂本 裕一	川口市福祉部長	高畑 博	ふじみ野市長
牛田 洋子	元日本赤十字社埼玉県有功会川口市支会監事	藤井 栄一郎	白岡市長
岡田 安弘	行田市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	大島 清	伊奈町長
北堀 篤	秩父市長	中野 松夫	宮代町社会福祉協議会会長
前田 広子	所沢市福祉部長	窪田 裕之	杉戸町長
岡田 茂穂	会社役員	坂巻 正士	松伏町いきいき福祉課長
新井 重治	飯能市長	林 伊佐雄	三芳町長
石川 雄一	加須市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	小峰 孝雄	鳩山町長
木村 登志男	本庄市社会福祉協議会理事	飯島 和夫	川島町長
今村 浩之	東松山市健康福祉部長	大澤 タキ江	長瀨町長
時田 美野吉	春日部市自治会連合会会長	原田 信次	美里町長
鷹野 勝利	狭山市福祉こども部長	矢部 吉春	寄居町社会福祉協議会常務理事兼事務局長
秋山 尚幸	羽生市市民福祉部長	清水 勇人	さいたま市長
木村 勝美	鴻巣市健康福祉部長	村田 俊彦	団体役員
小島 進	深谷市長	二重作 正次	会社役員
石川 孝之	上尾市社会福祉協議会事務局長	斉之平 伸一	団体役員
坂田 幸夫	草加市健康福祉部長	吉川 尚彦	埼玉県生活協同組合連合会 会長理事
小田 大作	越谷市福祉部長	齋木 はな	元 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会 委員長
杉本 昭彦	越谷市社会福祉協議会会長	高橋 裕一	埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団委員長
頼高 英雄	蕨市長	田口 誠	会社役員
菅原 文仁	戸田市長	平本 一郎	会社役員
杉島 理一郎	入間市長	小野 修作	団体役員
松尾 哲	朝霞市社会福祉協議会会長	上木 雄二	埼玉県社会福祉協議会副会長
中村 修	志木市福祉部長	吉田 秀実	埼玉県民生委員・児童委員協議会事務局長
柴崎 光子	和光市長		

定員数75名

2 災害救護資材配備状況

(1) 災害救援車両

軽貨物自動車バンタイプ(商用車)	
地区・分区(8地区・分区)	熊谷市、加須市、狭山市、羽生市、蕨市、戸田市、伊奈町、嵐山町

(2) 地区分区向け災害救護装備・機器(3カ年計画:1年次分)配備先と数量一覧

	地区・分区名	品名	数量
1	さいたま市地区本部	中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	1
		二酸化炭素濃度測定器	1
		非接触型体温計	1
2	さいたま市西区地区	ブルゾン(春夏用)	5
		非接触型体温計	1
3	さいたま市北区地区	パーテーション	2
		ブルゾン(リバーシブルタイプ)	1
		ブルゾン(春夏用)	1
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	3
		非常用糞尿処理セット	3
		非接触型体温計	1
4	さいたま市大宮区地区	パーテーション	9
5	さいたま市見沼区地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	3
		大型扇風機	1
6	さいたま市中央区地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		大型扇風機	2
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	10
7	さいたま市桜区地区	二酸化炭素濃度測定器	20
8	さいたま市浦和区地区	スポットクーラー	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
9	さいたま市南区地区	スポットクーラー	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
		非接触型体温計	4
10	さいたま市緑区地区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	3
		軽量折たたみ式テント	1
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	5
11	さいたま市岩槻区地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	3
12	川越市地区	大型扇風機	14
		中型救急箱(中身含む)	2

13	熊谷市地区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	3
		自動ラップ式簡易トイレ	1
14	川口市地区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	8
		ブルゾン(春夏用)	10
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		防寒衣	6
15	行田市地区	中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	4
		非接触型体温計	2
16	秩父市地区	移動炊飯器	1
		大型扇風機	1
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	4
		二酸化炭素濃度測定器	3
17	所沢市地区	大型扇風機	12
18	飯能市地区	天幕(小)	1
		非接触型体温計	3
19	加須市地区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	2
		ブルゾン(春夏用)	2
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	4
		二酸化炭素濃度測定器	4
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	15
20	本庄市地区	天幕(小)	1
21	東松山市地区	中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	10
22	春日部市地区	ハンズフリー拡声器	5
		大型扇風機	1
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	3
23	狭山市地区	LED ランタン	5
		ハンズフリー拡声器	1
		ブルゾン(リバーシブルタイプ)	5
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		車椅子	1
		二酸化炭素濃度測定器	1
24	羽生市地区	赤外線オイルヒーター	1
		二酸化炭素濃度測定器	2
25	鴻巣市地区	中型救急箱(中身含む)	1
		非接触型体温計	5
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	10
26	深谷市地区	二酸化炭素濃度測定器	1
		防寒衣	2
27	上尾市地区	LED ランタン	6
		ハンズフリー拡声器	4

		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	3
		中型救急箱(中身含む)	2
		天幕(小)	1
28	草加市地区	LED ランタン	1
		パーテーション	5
		簡易ベッド	8
29	越谷市地区	パーテーション	4
		自動ラップ式簡易トイレ	1
30	蕨市地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		軽量折たたみ式テント	1
31	戸田市地区	LED ランタン	2
		ブルゾン(リバーシブルタイプ)	3
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
		防寒衣	3
32	入間市地区	スポットクーラー	2
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	1
33	朝霞市地区	赤外線オイルヒーター	1
34	志木市地区	トランシーバー(一対)	1
		ブルゾン(春夏用)	12
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		車椅子	1
		非接触型体温計	1
35	和光市地区	ブルゾン(春夏用)	3
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		車椅子	2
		中型救急箱(中身含む)	1
		非常用糞尿処理セット	3
36	新座市地区	プライベートテント	3
		ブルゾン(春夏用)	2
		天幕(小)	1
		非接触型体温計	1
37	桶川市地区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	10
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	6
		二酸化炭素濃度測定器	8
38	久喜市地区	プライベートテント	1
		ブルゾン(春夏用)	2
		自動ラップ式簡易トイレ	1
39	北本市地区	移動炊飯器	1
		二酸化炭素濃度測定器	4
40	八潮市地区	スポットクーラー	1

		天幕(小)	1
41	富士見市地区	パーティーション	6
		防寒衣	3
42	三郷市地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	3
43	蓮田市地区	スポットクーラー	2
		二酸化炭素濃度測定器	3
44	坂戸市地区	トランシーバー(一対)	7
45	幸手市地区	パーティーション	2
		プライベートテント	1
		大型扇風機	1
		二酸化炭素濃度測定器	2
		非接触型体温計	4
46	鶴ヶ島市地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	3
47	日高市地区	大型扇風機	8
48	吉川市地区	LED ランタン	1
		スポットクーラー	1
		トランシーバー(一対)	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
49	ふじみ野市地区	LED ランタン	1
		パーティーション	8
		二酸化炭素濃度測定器	1
50	白岡市地区	プライベートテント	4
		非常用糞尿処理セット	5
51	伊奈町分区	スポットクーラー	3
52	三芳町分区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	7
		ブルゾン(春夏用)	6
53	毛呂山町分区	LED ランタン	3
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		大型扇風機	1
		非常用糞尿処理セット	2
		非接触型体温計	2
54	越生町分区	スポットクーラー	2
55	滑川町分区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	5
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
56	嵐山町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
		大型扇風機	2
57	小川町分区	ハンズフリー拡声器	1
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	3
		二酸化炭素濃度測定器	1
		非接触型体温計	1

		防寒衣	1
58	川島町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	3
59	吉見町分区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	2
		ブルゾン(春夏用)	2
		簡易ベッド	1
		車椅子	2
		二酸化炭素濃度測定器	1
		防寒衣	2
60	鳩山町分区	LED ランタン	1
		スポットクーラー	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
61	ときがわ町分区	赤外線オイルヒーター	1
62	横瀬町分区	スポットクーラー	1
		二酸化炭素濃度測定器	4
63	皆野町分区	トランシーバー(一対)	3
64	長瀬町分区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	5
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	1
65	小鹿野町分区	LED ランタン	4
		スポットクーラー	1
		パーティーション	2
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	1
66	東秩父村分区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	1
		赤外線オイルヒーター	1
		二酸化炭素濃度測定器	1
67	美里町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		二酸化炭素濃度測定器	4
		非接触型体温計	4
68	神川町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
		二酸化炭素濃度測定器	5
69	上里町分区	プライベートテント	1
		ブルゾン(リバーシブルタイプ)	5
		車椅子	1
		二酸化炭素濃度測定器	1
70	寄居町分区	赤外線オイルヒーター	1
71	宮代町分区	車椅子	3
		二酸化炭素濃度測定器	2
		非接触型体温計	4
72	杉戸町分区	二酸化炭素濃度測定器	4
73	松伏町分区	パーティーション	6
		非接触型体温計	1

74	東部中央地区	二酸化炭素濃度測定器	2
		非接触型体温計	2
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	10
75	西部地区	ブルゾン(リバーシブルタイプ)	2
		中型救急箱(中身のみ)【詰め替え品一式】	1
76	北部地区	配備なし	—
77	秩父地区	中型救急箱(中身含む)	1
		二酸化炭素濃度測定器	1
		非接触型体温計	1

3 救援物資・弔慰金内訳

(1) 小規模災害(火災等)

	地区・分区名	被災世帯数	被災者数	布団	毛布	緊急セット	弔慰金	
							人数	金額
1	さいたま市地区本部	0	0	0	0	0	0	0
2	さいたま市西区地区	5	12	11	7	7	1	20,000
3	さいたま市北区地区	1	2	0	0	1	0	0
4	さいたま市大宮区地区	13	22	12	12	13	0	0
5	さいたま市見沼区地区	4	4	4	2	0	2	60,000
6	さいたま市中央区地区	2	2	3	3	4	0	0
7	さいたま市桜区地区	3	11	11	11	4	0	0
8	さいたま市浦和区地区	0	0	0	0	0	0	0
9	さいたま市南区地区	0	0	0	0	0	0	0
10	さいたま市緑区地区	4	10	4	4	4	0	0
11	さいたま市岩槻区地区	2	4	3	3	2	0	0
12	川崎市地区	6	13	13	13	6	1	20,000
13	熊谷市地区	8	12	7	7	4	0	0
14	川口市地区	13	28	26	27	16	2	40,000
15	行田市地区	0	0	0	0	0	0	0
16	秩父市地区	7	8	7	7	1	0	0
17	所沢市地区	10	23	19	18	8	1	20,000
18	飯能市地区	8	15	9	5	6	2	40,000
19	加須市地区	5	6	5	5	5	1	20,000
20	本庄市地区	3	3	3	3	3	2	50,000
21	東松山市地区	0	0	0	0	0	0	0
22	春日部市地区	4	14	14	12	5	0	0
23	狭山市地区	1	5	5	6	1	1	20,000
24	羽生市地区	0	0	0	0	0	0	0
25	鴻巣市地区	2	5	5	5	1	0	0
26	深谷市地区	5	19	13	9	6	2	50,000
27	上尾市地区	10	22	17	17	10	2	50,000
28	草加市地区	0	0	0	0	0	1	20,000
29	越谷市地区	1	6	6	0	1	3	80,000

30	蕨市地区	7	16	12	12	8	2	40,000
31	戸田市地区	0	0	0	0	0	0	0
32	入間市地区	2	3	3	3	2	0	0
33	朝霞市地区	1	2	0	1	1	0	0
34	志木市地区	1	4	4	4	0	0	0
35	和光市地区	1	3	3	3	0	0	0
36	新座市地区	1	2	2	2	1	0	0
37	桶川市地区	1	3	3	3	0	0	0
38	久喜市地区	4	12	12	12	3	1	20,000
39	北本市地区	2	3	3	3	2	0	0
40	八潮市地区	0	0	0	0	0	0	0
41	富士見市地区	0	0	0	0	0	0	0
42	ふじみ野市地区	3	5	5	5	2	0	0
43	三郷市地区	0	0	0	0	0	0	0
44	蓮田市地区	0	0	0	0	0	0	0
45	坂戸市地区	6	15	12	13	6	1	20,000
46	幸手市地区	0	0	0	0	0	0	0
47	鶴ヶ島市地区	0	0	0	0	0	0	0
48	日高市地区	6	12	11	11	6	1	20,000
49	吉川市地区	0	0	0	0	0	0	0
50	白岡市地区	1	3	3	0	3	0	0
51	伊奈町分区	0	0	0	0	0	0	0
52	三芳町分区	2	7	7	5	1	0	0
53	毛呂山町分区	3	7	3	7	1	1	20,000
54	越生町分区	2	2	2	0	5	0	0
55	滑川町分区	0	0	0	0	0	0	0
56	嵐山町分区	0	0	6	0	0	0	0
57	小川町分区	5	7	7	7	2	0	0
58	ときがわ町分区	3	5	5	0	3	0	0
59	川島町分区	0	0	0	0	0	0	0
60	吉見町分区	0	0	0	0	0	0	0
61	鳩山町分区	1	1	5	1	5	0	0
62	横瀬町分区	0	0	0	0	0	0	0
63	皆野町分区	0	0	0	0	0	0	0

64	長瀬町分区	0	0	0	0	0	0	0
65	小鹿野町分区	0	0	0	0	0	0	0
66	東秩父村分区	0	0	0	0	0	0	0
67	美里町分区	0	0	0	0	0	0	0
68	神川町分区	0	0	0	0	0	1	20,000
69	上里町分区	0	0	0	0	0	0	0
70	寄居町分区	3	7	7	7	3	1	20,000
71	宮代町分区	0	0	0	0	0	0	0
72	杉戸町分区	1	2	2	2	1	2	40,000
73	松伏町分区	0	0	0	0	0	0	0
74	東部中央地区	0	0	0	0	0	0	0
75	西部地区	0	0	0	0	0	0	0
76	北部地区	0	0	0	0	0	0	0
77	秩父地区	0	0	0	0	0	0	0
合計		173	367	314	277	163	31	690,000

(2) ウクライナ人道危機

	地区・分区名	世帯数	人数	布団	毛布	緊急 セット	感染予防 セット
1	川口市地区	3	3	3	3	3	3
2	狭山市地区	1	3	2	3	1	0
3	深谷市地区	2	4	4	4	2	2
4	上尾市地区	2	2	2	2	2	2
5	越谷市地区	2	3	3	3	2	2
6	蕨市地区	1	1	0	0	1	0
7	戸田市地区	7	22	22	13	8	0
8	伊奈町分区	1	1	2	0	0	0
9	寄居町分区	1	4	4	4	1	0
合計		20	43	42	32	20	9

(3) トルコ・シリア地震

	地区・分区名	被災 世帯数	人数	布団	毛布	緊急 セット
1	本庄市地区	1	3	3	3	3

4 臨時救護実施状況

行事名	実施日等	主催(依頼)団体	会場	派遣 日数	派遣 者数	延べ 患者数
第72回深谷七夕まつり	7月8日	一般社団法人深谷市観光協会	深谷市仲町3-20付近(テリーヌ様月極駐車場)	3	4	8
令和4年度県民総合スポーツ大会兼令和4年度埼玉県高等学校新体操選手権大会	7月18日	埼玉県体操協会	くまがやドーム体育館	1	2	1
第27回深谷まつり	7月30日	一般社団法人深谷市観光協会	深谷市仲町11-1(深谷市役所駐車内)	1	1	0
テレ玉カップジュニアゴルフ大会	8月1日	株式会社テレビ埼玉クリエイティブ	熊谷市大麻生ゴルフ場	1	1	1
青少年赤十字入間地区指導者協議会リーダーシップトレーニングセンター	8月4日	青少年赤十字入間地区指導者協議会	埼玉県立小川げんきプラザ	1	1	0
ふっかちゃんバスデイぱーちい2022	8月6日	深谷市	深谷市民文化会館	1	1	0
国民体育大会県予選会	8月13日	一般財団法人埼玉県陸上競技協会	上尾運動公園陸上競技場	1	2	0
鴻巣市民陸上競技大会兼第30回鴻巣市陸上選手権大会	8月27日	鴻巣市陸上競技協会	鴻巣市陸上競技場	1	2	4
でんきちハートフルサッカー	9月3日	株式会社ランドガレージ	埼玉スタジアム 第3グラウンド	1	1	1
熊谷市勤労者スポーツ大会ソフトボールの部	9月4日	熊谷市	熊谷荒川緑地ソフトボール場	2	2	2
令和4年度(第48回)埼玉県民生委員・児童委員大会	9月5日	一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会	埼玉会館「大ホール」	1	1	0

令和4年度第2回浦和剣道連盟1級審査会	9月10日	浦和剣道連盟	サイデン化学アリーナ サブアリーナ	1	1	0
一般財団法人埼玉県遺族連合会創立75周年記念式典	9月28日	一般財団法人埼玉県遺族連合会	埼玉会館「小ホール」	1	1	0
令和4年度 剣道段位審査会(初段～三段)	10月8日	浦和剣道連盟	埼玉県立武道館	1	1	0
第20回南区ふるさとふれあいフェア	10月8日	第20回南区ふるさとふれあいフェア実行委員会	浦和競馬場	1	1	1
第47回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	10月8日	全埼玉ろう軟式野球連盟	県営大宮公園野球場他	5	5	5
秋季クラブ対抗兼記録会	10月9日	一般社団法人埼玉陸上競技協会	東松山市岩鼻運動公園陸上競技場	1	1	2
熊谷市総合体育大会陸上競技の部兼熊谷市陸上競技選手権	10月10日	熊谷市陸上競技協会	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	1	1	0
令和4年度埼玉県警察柔道剣道大会	10月13日	埼玉県警察本部警務部教養課	埼玉県立武道館	1	2	10
令和4年度県民総合スポーツ大会兼第40回埼玉県ジュニア体操競技選手権大会	10月15日	埼玉県体操協会	熊谷スポーツ文化公園「くまがやドーム」体育館	2	2	2
令和4年度さるはなキャンプフェスタ・親子のつどい	10月16日	さいたま市青少年育成課	さいたま市グリーンライフ猿花キャンプ場	1	1	2
彩の国プラチナフェスティバル令和4年度シルバースポーツ大会	10月20日	公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会	熊谷スポーツ文化公園	1	3	3
東京天竜ハートフルサッカー	10月23日	株式会社ランドガレージ	埼玉スタジアム 第2グラウンド	1	1	1

リズムハートフルサッカー	10月30日	株式会社ランドガレージ	埼玉スタジアム 第3グラウンド	1	1	0
秋季記録会	10月30日	一般社団法人埼玉陸上競技協会	上尾運動公園陸上競技場	1	1	2
埼玉県高等学校体育連盟主催大会	11月1日	埼玉県高等学校体育連盟	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他	14	16	16
令和4年度埼玉県社会福祉大会	11月2日	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会	埼玉会館 大ホール	1	1	0
令和4年度さいたま市戦没者追悼式	11月2日	さいたま市保健福祉局福祉部福祉総務課	RaiBoC Hall(市民会館おのみや)	1	1	0
東日本実業団対抗駅伝競走大会	11月3日	一般社団法人埼玉陸上競技協会	埼玉県庁～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)	1	1	0
大宮公園かいぼりイベント	11月3日	埼玉県都市整備部公園スタジアム課	大宮公園舟遊池	2	2	0
第17回深谷市産業祭	11月5日	深谷市産業祭実行委員会	深谷市産業祭本部テント内	2	2	1
埼玉チャレンジカップ	11月6日	一般社団法人埼玉陸上競技協会	上尾運動公園陸上競技場	1	1	0
浦和区民まつり2022	11月6日	浦和区民まつり実行委員会	浦和駅東口駅前市民広場	1	1	1
令和4年度さいたま市社会福祉大会	11月10日	さいたま市保健福祉局福祉部福祉総務課	RaiBoC Hall(市民会館おのみや)	1	1	0
第20回見沼区ふれあいフェア	11月12日	見沼区ふれあいフェア実行委員会	堀崎公園	1	2	0

令和4年埼玉県赤十字大会	11月18日	日本赤十字社埼玉県支部	さいたま市文化センター	1	1	1
与野ハートフルサッカー	11月19日	株式会社ランドガレージ	埼玉スタジアム 第3グラウンド	1	1	2
第18回熊谷市産業祭	11月19日	熊谷市産業祭実行委員会	熊谷スポーツ文化公園 にぎわい広場	1	1	4
ラグビーワールドカップ開催記念第3回熊谷市スポレクフェスティバル	11月19日	公益財団法人熊谷市スポーツ協会	熊谷スポーツ文化公園	2	2	11
第35回県民総合スポーツ大会兼 第28回特別支援学校サッカー大会	11月22日	埼玉県特別支援学校体育連盟	埼玉スタジアム2002補助グラウンド	1	1	11
令和4年度かわごえ産業フェスタ	11月26日	かわごえ産業フェスタ実行委員会	ウェスタ川越	2	2	0
さいたま市民生委員・児童委員 感謝状贈呈式・委嘱状伝達式	12月8日	さいたま市保健福祉局福祉部福祉 総務課	さいたま市文化センター	1	1	0
ポラスハートフルサッカー	12月10日	株式会社ランドガレージ	埼玉スタジアム 第3グラウンド	1	1	2
第21回JAライススポーツセミナー	1月7日	株式会社ランドガレージ	レッズランド A1グラウンド	1	1	1
夢を見つける！リアル体験教室「チアリーダー になりたい」	1月8日	埼玉県県民生活部青少年課	和光市総合体育館サブアリーナ	1	1	0
第19回国公立27大学対抗駅伝大会	1月14日	国公立大学陸上競技連盟	熊谷スポーツ文化公園陸 上競技場	1	1	0
第36回熊谷めぬま駅伝大会	1月21日	熊谷めぬま駅伝大会	熊谷市立妻沼中央公民館	1	3	3

埼玉県高等学校体育連盟新人大会	1月25日	埼玉県高等学校体育連盟	埼玉県立武道館他	7	7	3
令和4年度埼玉県青少年赤十字小・中学生 1日防災学習プログラム	2月4日	日本赤十字社埼玉県支部	首都圏外郭放水路他	1	1	2
令和4年度帰宅困難者対策訓練	2月8日	埼玉県危機管理防災部	川口総合文化センターリリア	1	1	0
令和4年度浦和少年剣道錬成大会	2月19日	浦和剣道連盟会長	サイデン化学アリーナ サブ アリーナ	1	1	2
一日赤十字(西上尾第二団地)	2月19日	日赤上尾市地区	西上尾第二団地広場周辺	1	2	0
県老連創立60周年記念令和4年度埼玉県 老人クラブ大会・指導者研修会	3月8日	公益財団法人埼玉県老人クラブ 連合会	大宮ソニックシティ・大ホール	1	1	0
第34回テレ玉親子ふれあいマラソン大会	3月11日	株式会社テレビ埼玉クリエイティブ	彩湖・道満グリーンパーク	1	2	19
第44回鴻巣市陸上競技記録会	3月18日	鴻巣市陸上競技協会	鴻巣市陸上競技場	1	2	3
第33回熊谷さくらマラソン大会	3月19日	熊谷さくらマラソン大会	熊谷さくら運動公園陸上 競技場	1	4	8
2022春季記録会	3月21日	一般社団法人埼玉陸上競技協会	上尾運動公園陸上競技場	1	1	2
第29回選抜高校女子サッカー大会「めぬま カップ」in熊谷	3月26日	選抜高校女子サッカー大会「めぬま カップ」in熊谷実行委員会	利根川総合運動公園サッカー 場・熊谷スポーツ文化公園	4	8	3
			計	92	114	140

5 救急法・健康生活支援講習等講習会実施状況

(1) 救急法

ア 基礎講習

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	5(4)	80(57)
	ボランティア	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	4(0)	79(0)
	職域	20(1)	362(19)
	その他	16(14)	408(243)
合計		45(19)	929(319)

イ 救急員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	4(4)	73(57)	73(57)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	1(0)	33(0)	33(0)
	職域	2(1)	36(19)	36(19)
	その他	9(0)	218(0)	208(0)
合計		16(5)	360(76)	350(76)

ウ 救急員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)

エ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	2(0)	26(0)
	ボランティア	7(12)	131(143)
一般受講者	学生	46(61)	1,554(2,377)
	職域	64(33)	1,189(329)
	その他	38(6)	888(116)
合計		157(112)	3,788(2,965)

(2) 水上安全法

ア 救助員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回		受講者数:人		養成者数:人	
		I	II	I	II	I	II
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(8)	0(0)	0(7)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

イ 救助員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)

ウ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)
	ボランティア	7(0)	44(0)
一般受講者	学生	9(4)	738(392)
	職域	7(4)	100(72)
	その他	2(5)	54(62)
合計		25(13)	936(526)

(3) 健康生活支援講習

ア 支援員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0 (0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0 (0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0 (0)	0(0)	0(0)
	職域	0 (0)	0(0)	0(0)
	その他	1 (0)	8(0)	7(0)
合計		1 (0)	8(0)	7(0)

イ 支援員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0 (0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0 (0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0 (0)	0(0)	0(0)
	職域	0 (0)	0(0)	0(0)
	その他	0 (0)	0(0)	0(0)
合計		0 (0)	0(0)	0(0)

ウ 短期講習会(災害時高齢者生活支援講習を含む)

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	(0)
	ボランティア	24(0)	442(0)
一般受講者	学生	3(3)	91(141)
	職域	1(0)	11(0)
	その他	4(5)	34(72)
合計		32(8)	578(213)

(4) 幼児安全法

ア 支援員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	2(0)	43(0)	39(0)
合計		2(0)	43(0)	39(0)

イ 支援員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)

ウ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)
	ボランティア	7(6)	89(67)
一般受講者	学生	20(2)	454(24)
	職域	19(20)	208(320)
	その他	8(23)	103(280)
合計		54(51)	854(691)

(5) 雪上安全法

開催なし。

6 赤十字奉仕団結成状況及び団員数

(1) 地域奉仕団

(令和5年3月31日現在)

奉仕団名	結成 年月日	団員数 (人)	奉仕団名	結成 年月日	団員数 (人)
さいたま市与野赤十字奉仕団	S45. 4. 1	20	坂戸市赤十字奉仕団	S32. 4. 1	137
さいたま市南区赤十字奉仕団	H17. 4. 1	19	鶴ヶ島市赤十字奉仕団	S60. 5. 22	30
さいたま市岩槻区赤十字奉仕団	S33. 4. 21	20	日高市赤十字奉仕団	S41. 4. 1	196
川越市赤十字奉仕団	S58. 3. 26	54	伊奈町赤十字奉仕団	S53. 11. 10	63
熊谷市赤十字奉仕団	S53. 4. 25	180	三芳町赤十字奉仕団	S31. 12. 1	25
川口市赤十字奉仕団	H 6. 12. 1	594	毛呂山町赤十字奉仕団	S47. 12. 1	119
秩父市赤十字奉仕団	S42. 4. 22	264	越生町赤十字奉仕団	S33. 4. 21	15
所沢市赤十字奉仕団	S47. 4. 1	614	滑川町赤十字奉仕団	S32. 4. 6	96
飯能市赤十字奉仕団	S33. 10. 25	91	嵐山町赤十字奉仕団	S54. 2. 13	25
加須市赤十字奉仕団	S50. 7. 4	83	小川町赤十字奉仕団	H12. 6. 26	152
本庄市赤十字奉仕団	H19. 10. 12	63	ときがわ町赤十字奉仕団	H14. 9. 27	25
東松山市赤十字奉仕団	S32. 4. 19	203	川島町赤十字奉仕団	S26. 9. 10	167
春日部市赤十字奉仕団	S26. 9. 10	102	吉見町赤十字奉仕団	H 7. 8. 23	18
狭山市赤十字奉仕団	S55. 4. 5	41	横瀬町赤十字奉仕団	S46. 4. 1	68
鴻巣市赤十字奉仕団	S25. 10. 19	102	皆野町赤十字奉仕団	S60. 6. 19	74
深谷市赤十字奉仕団	S62. 4. 1	376	長瀨町赤十字奉仕団	S45. 4. 15	104
越谷市赤十字奉仕団	H12. 3. 23	103	小鹿野町赤十字奉仕団	S45. 11. 3	40
蕨市赤十字奉仕団	S24. 4. 14	134	美里町赤十字奉仕団	S28. 6. 3	56
入間市赤十字奉仕団	S24. 6. 1	89	神川町赤十字奉仕団	S42. 10. 7	102
志木市赤十字奉仕団	S56. 5. 18	123	上里町赤十字奉仕団	S25. 10. 5	94
桶川市赤十字奉仕団	S26. 8. 21	22	寄居町赤十字奉仕団	S53. 3. 28	58
久喜市赤十字奉仕団	H 3. 5. 1	47	宮代町赤十字奉仕団	S54. 6. 26	63
富士見市赤十字奉仕団	S29. 4. 1	82	杉戸町赤十字奉仕団	S52. 2. 14	50
ふじみ野市赤十字奉仕団	S47. 5. 10	89	松伏町赤十字奉仕団	S54. 10. 29	37
三郷市赤十字奉仕団	H11. 4. 1	32			

(2) 青年奉仕団

(令和5年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	団員数(人)
埼玉県青少年赤十字卒業生奉仕団	S52. 6.11	14
共栄大学学生赤十字奉仕団	R4.11.1	114
日本赤十字看護大学 さいたま看護学生赤十字奉仕団	R4.12.1	12

(3) 特殊奉仕団

(令和5年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	団員数(人)	奉仕団名	結成年月日	団員数(人)
埼玉マジック赤十字奉仕団	S50. 4. 1	8	埼玉県ナース赤十字奉仕団	S61. 5.31	11
SRCHボランティア赤十字奉仕団	S61. 2.19	73	支部援助赤十字奉仕団	H 8. 4.22	11
日赤埼玉水上安全奉仕団	H10. 4.26	121	埼玉県子育て介護赤十字奉仕団	H18.10. 1	38
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団	H13. 7.12	532	埼玉工業大学赤十字奉仕団	H23. 4. 1	43
埼玉安全赤十字奉仕団	S56. 4.21	119			

7 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会名簿

(令和5年3月31日現在)

区分	役職名	氏名	職名
	委員長	岩岡 民枝	所沢市赤十字奉仕団委員長
市	常任委員	森田 照子	春日部市赤十字奉仕団委員長
	委員	井原 弘美	さいたま市与野赤十字奉仕団委員長
	委員	山川 安代	飯能市赤十字奉仕団委員長
	委員	三友 登代	鴻巣市赤十字奉仕団委員長
町・村	委員	長岡 朝子	杉戸町赤十字奉仕団委員長
	委員	菊地 富美子	吉見町赤十字奉仕団委員長
	委員	井田 静江	寄居町赤十字奉仕団委員長
	委員	林 静子	上里町赤十字奉仕団委員長
	委員	新井 和子	長瀨町赤十字奉仕団委員長
市	常任委員	齋藤 貴弘	さいたま市福祉総務課長
	委員	荻野 享	所沢市社会福祉協議会事務局長
	委員	折原 武志	春日部市生活支援課長
	委員	竹井 伸次	飯能市地域・生活福祉課長
	委員	服部 和代	鴻巣市福祉課長
町・村	委員	間宮 佐	杉戸町社会福祉協議会事務局長
	委員	石井 宏之	吉見町社会福祉協議会事務局長
	委員	矢部 吉春	寄居町社会福祉協議会事務局長
	委員	間々田 明美	上里町社会福祉協議会事務局長
	委員	金澤 裕治	長瀨町社会福祉協議会事務局長
郡	常任委員	西村 憲一	埼玉県秩父福祉事務所所長
	委員	手塚 明正	埼玉県東部中央福祉事務所所長
	委員	茂木 誠一	埼玉県西部福祉事務所所長
	委員	飯田 朋宏	埼玉県北部福祉事務所所長
	副委員長	黒瀬 節子	支部指導講師
	常任委員	丸山 まゆみ	埼玉安全赤十字奉仕団委員長
	委員	加藤 緩凧	埼玉県青年赤十字奉仕団連絡協議会会長

8 青少年赤十字加盟校一覧 ※指導者協議会 第3回役員会資料データを掲載しています。

(1) 小学校

(令和5年3月31日現在)

さいたま市(41)	さいたま市立高砂小学校	熊谷市立久下小学校
埼玉大学教育学部附属小学校	さいたま市立美園小学校	熊谷市立桜木小学校
さいたま市立片柳小学校	さいたま市立宮前小学校	熊谷市立新堀小学校
さいたま市立文蔵小学校	川越市(18)	熊谷市立吉見小学校
さいたま市立東大成小学校	川越市立川越第一小学校	熊谷市立市田小学校
さいたま市立大成小学校	川越市立中央小学校	熊谷市立江南北小学校
さいたま市立大宮北小学校	川越市立川越小学校	川口市(20)
さいたま市立大宮南小学校	川越市立南古谷小学校	川口市立並木小学校
さいたま市立大宮小学校	川越市立泉小学校	川口市立青木中央小学校
さいたま市立七里小学校	川越市立大東西小学校	川口市立戸塚南小学校
さいたま市立岩槻小学校	川越市立霞ヶ関小学校	川口市立芝西小学校
さいたま市立与野八幡小学校	川越市立広谷小学校	川口市立東領家小学校
さいたま市立谷田小学校	川越市立高階小学校	川口市立南鳩ヶ谷小学校
さいたま市立見沼小学校	川越市立高階西小学校	川口市立上青木南小学校
さいたま市立道祖土小学校	川越市立月越小学校	川口市立朝日西小学校
さいたま市立春野小学校	川越市立川越西小学校	川口市立十二月田小学校
さいたま市立沼影小学校	川越市立寺尾小学校	川口市立芝小学校
さいたま市立仲町小学校	川越市立芳野小学校	川口市立上青木小学校
さいたま市立常盤小学校	川越市立仙波小学校	川口市立戸塚小学校
さいたま市立常盤北小学校	川越市立高階北小学校	川口市立飯仲小学校
さいたま市立つばさ小学校	川越市立古谷小学校	川口市立鳩ヶ谷小学校
さいたま市立辻南小学校	川越市立霞ヶ関東小学校	川口市立柳崎小学校
さいたま市立辻小学校	熊谷市(22)	川口市立芝富士小学校
さいたま市立田島小学校	熊谷市立熊谷西小学校	川口市立安行小学校
さいたま市立泰平小学校	熊谷市立玉井小学校	川口市立本町小学校
さいたま市立下落合小学校	熊谷市立中条小学校	川口市立根岸小学校
さいたま市立指扇北小学校	熊谷市立熊谷南小学校	川口市立青木北小学校
さいたま市立大門小学校	熊谷市立熊谷東小学校	行田市(2)
さいたま市立大谷口小学校	熊谷市立石原小学校	行田市立東小学校
さいたま市立大戸小学校	熊谷市立奈良小学校	行田市立忍小学校
さいたま市立大久保東小学校	熊谷市立成田小学校	秩父市(6)
さいたま市立栄和小学校	熊谷市立大麻生小学校	秩父市立大田小学校
さいたま市立大宮東小学校	熊谷市立大幡小学校	秩父市立南小学校
さいたま市立大谷場小学校	熊谷市立三尻小学校	秩父市立尾田蔀小学校
さいたま市立大谷場東小学校	熊谷市立吉岡小学校	秩父市立吉田小学校
さいたま市立日進小学校	熊谷市立佐谷田小学校	秩父市立秩父第一小学校
さいたま市立宮原小学校	熊谷市立別府小学校	秩父市立影森小学校
さいたま市立上小小学校	熊谷市立星宮小学校	所沢市(3)
さいたま市立春岡小学校	熊谷市立籠原小学校	所沢市立南小学校

所沢市立中央小学校	鴻巣市立屈巢小学校	越谷市(19)
所沢市立松井小学校	鴻巣市立共和小学校	越谷市立蒲生南小学校
飯能市(1)	鴻巣市立広田小学校	越谷市立大袋小学校
飯能市立名栗小学校	鴻巣市立赤見台第一小学校	越谷市立大沢小学校
加須市(17)	鴻巣市立赤見台第二小学校	越谷市立南越谷小学校
加須市立礼羽小学校	鴻巣市立下忍小学校	越谷市立越ヶ谷小学校
加須市立樋遣川小学校	鴻巣市立吹上小学校	越谷市立平方小学校
加須市立加須小学校	鴻巣市立常光小学校	越谷市立蒲生小学校
加須市立水深小学校	鴻巣市立松原小学校	越谷市立大沢北小学校
加須市立大越小学校	鴻巣市立箕田小学校	越谷市立花田小学校
加須市立不動岡小学校	鴻巣市立田間宮小学校	越谷市立宮本小学校
加須市立大利根東小学校	鴻巣市立大芦小学校	越谷市立荻島小学校
加須市立原道小学校	鴻巣市立小谷小学校	越谷市立鷺後小学校
加須市立志多見小学校	鴻巣市立馬室小学校	越谷市立東越谷小学校
加須市立豊野小学校	深谷市(4)	越谷市立明正小学校
加須市立大桑小学校	深谷市立八基小学校	越谷市立大袋東小学校
加須市立三俣小学校	深谷市立川本南小学校	越谷市立千間台小学校
加須市立元和小学校	深谷市立川本北小学校	越谷市立大相模小学校
加須市立花崎北小学校	深谷市立上柴西小学校	越谷市立城ノ上小学校
加須市立加須南小学校	上尾市(14)	越谷市立北越谷小学校
加須市立北川辺西小学校	上尾市立上尾小学校	蕨市(1)
加須市立北川辺東小学校	上尾市立上平小学校	蕨市立中央小学校
本庄市(0)	上尾市立芝川小学校	戸田市(0)
東松山市(0)	上尾市立平方小学校	入間市(1)
春日部市(3)	上尾市立大石小学校	入間市立東金子小学校
春日部市立南桜井小学校	上尾市立東小学校	朝霞市(1)
春日部市立備後小学校	上尾市立大石南小学校	朝霞市立朝霞第二小学校
春日部市立正善小学校	上尾市立富士見小学校	志木市(1)
狭山市(3)	上尾市立今泉小学校	志木市立志木第四小学校
狭山市立水富小学校	上尾市立大谷小学校	和光市(1)
狭山市立狭山台小学校	上尾市立平方東小学校	和光市立下新倉小学校
狭山市立広瀬小学校	上尾市立大石北小学校	新座市(2)
羽生市(5)	上尾市立瓦葺小学校	新座市新座小学校
羽生市立手子林小学校	上尾市立東町小学校	新座市立陣屋小学校
羽生市立羽生南小学校	草加市(6)	桶川市(1)
羽生市立井泉小学校	草加市立高砂小学校	桶川市立朝日小学校
羽生市立新郷第一小学校	草加市立八幡小学校	久喜市(1)
羽生市立村君小学校	草加市立瀬崎小学校	久喜市立青毛小学校
鴻巣市(16)	草加市立清門小学校	北本市(0)
鴻巣市立鴻巣東小学校	草加市立氷川小学校	八潮市(0)
鴻巣市立鴻巣南小学校	草加市立花栗南小学校	富士見市(1)

富士見市立針ヶ谷小学校	吉川市立栄小学校	東秩父村(0)
ふじみ野市(2)	白岡市(1)	美里町(0)
ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校	白岡市立南小学校	神川町(1)
ふじみ野市立上野台小学校	伊奈町(1)	神川町立神泉小学校
三郷市(3)	伊奈町立南小学校	上里町(2)
三郷市立前間小学校	三芳町(5)	上里町立神保原小学校
三郷市立彦郷小学校	三芳町立三芳小学校	上里町立七本木小学校
三郷市立高州小学校	三芳町立藤久保小学校	寄居町(1)
蓮田市(0)	三芳町立竹間沢小学校	寄居町立折原小学校
坂戸市(12)	三芳町立上富小学校	宮代町(0)
坂戸市立千代田小学校	三芳町立唐沢小学校	杉戸町(0)
坂戸市立入西小学校	毛呂山町(4)	松伏町(0)
坂戸市立三芳野小学校	毛呂山町立光山小学校	
坂戸市立坂戸小学校	毛呂山町立毛呂山小学校	
坂戸市立片柳小学校	毛呂山町立泉野小学校	
坂戸市立浅羽野小学校	毛呂山町立川角小学校	
坂戸市立南小学校	越生町(2)	
坂戸市立上谷小学校	越生町立梅園小学校	
坂戸市立勝呂小学校	越生町立越生小学校	
坂戸市立城山小学校	滑川町(3)	
坂戸市立大家小学校	滑川町立福田小学校	
坂戸市立桜小学校	滑川町立宮前小学校	
幸手市(3)	滑川町立月の輪小学校	
幸手市立上高野小学校	嵐山町(3)	
幸手市立幸手小学校	嵐山町立菅谷小学校	
幸手市立さかえ小学校	嵐山町立七郷小学校	
鶴ヶ島市(8)	嵐山町立志賀小学校	
鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校	小川町(1)	
鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校	小川町立小川小学校	
鶴ヶ島市立藤小学校	ときがわ町(0)	
鶴ヶ島市立新町小学校	川島町(0)	
鶴ヶ島市立長久保小学校	吉見町(1)	
鶴ヶ島市立南小学校	吉見町立北小学校	
鶴ヶ島市立杉下小学校	鳩山町(0)	
鶴ヶ島市立栄小学校	横瀬町(1)	
日高市(4)	横瀬町立横瀬小学校	
日高市立高根小学校	皆野町(0)	
日高市立高麗川小学校	長瀨町(2)	
日高市立高萩北小学校	長瀨町立長瀨第一小学校	
日高市立高萩小学校	長瀨町立長瀨第二小学校	
吉川市(1)	小鹿野町(0)	

(2) 中学校

(令和5年3月31日現在)

さいたま市(21)	行田市(6)	鴻巣市立鴻巣南中学校	越谷市立武蔵野中学校
さいたま市立大宮南中学校	行田市立行田中学校	鴻巣市立吹上北中学校	越谷市立千間台中学校
さいたま市立桜木中学校	行田市立忍中学校	鴻巣市立吹上中学校	越谷市立平方中学校
さいたま市立土呂中学校	行田市立西中学校	鴻巣市立川里中学校	蕨市(0)
さいたま市立大宮八幡中学校	行田市立埼玉中学校	鴻巣市立鴻巣西中学校	戸田市(2)
さいたま市立七里中学校	行田市立南河原中学校	鴻巣市立鴻巣北中学校	戸田市立笹目中学校
さいたま市立川通中学校	行田市立見沼中学校	深谷市(4)	戸田市立戸田中学校
さいたま市立馬宮中学校	秩父市(1)	深谷市立上柴中学校	入間市(0)
さいたま市立大成中学校	秩父市立尾田蒔中学校	深谷市立川本中学校	朝霞市(0)
さいたま市立浦和中学校	所沢市(0)	深谷市立明戸中学校	志木市(3)
さいたま市立岸中学校	飯能市(0)	深谷市立豊里中学校	志木市立宗岡中学校
さいたま市立八王子中学校	加須市(7)	上尾市(11)	志木市立宗岡第二中学校
さいたま市立南浦和中学校	加須市立加須北中学校	上尾市立上平中学校	志木市立志木中学校
さいたま市立美園中学校	加須市立昭和中学校	上尾市立南中学校	和光市(2)
さいたま市立慈恩寺中学校	加須市立加須西中学校	上尾市立大石中学校	和光市立第二中学校
さいたま市立常盤中学校	加須市立加須東中学校	上尾市立大谷中学校	和光市立大和中学校
さいたま市立白幡中学校	加須市立加須平成中学校	上尾市立大石南中学校	新座市(0)
さいたま市立植水中学校	加須市立北川辺中学校	上尾市立太平中学校	桶川市(0)
さいたま市立与野西中学校	加須市立大利根中学校	上尾市立原市中学校	久喜市(4)
さいたま市立田島中学校	本庄市(3)	上尾市立東中学校	久喜市立鷲宮東中学校
さいたま市立桜山中学校	本庄東高等学校附属中学校	上尾市立瓦葺中学校	久喜市立栗橋東中学校
さいたま市立尾間木中学校	本庄市立本庄南中学校	上尾市立西中学校	久喜市立鷲宮中学校
川越市(5)	本庄市立本庄西中学校	上尾市立上尾中学校	久喜市立久喜東中学校
川越市立初雁中学校	東松山市(1)	草加市(5)	北本市(3)
川越市立南古谷中学校	東松山市立北中学校	草加市立栄中学校	北本市立宮内中学校
川越市立芳野中学校	春日部市(6)	草加市立花栗中学校	北本市立東中学校
川越市立東中学校	春日部市立春日部中学校	草加市立瀬崎中学校	北本市立北本中学校
川越市立山田中学校	春日部市立豊春中学校	草加市立八塚中学校	八潮市(2)
熊谷市(4)	春日部市立緑中学校	草加市立草加中学校	八潮市立八潮中学校
熊谷市立荒川中学校	春日部市立東中学校	越谷市(12)	八潮市立潮止中学校
熊谷市立玉井中学校	春日部市立飯沼中学校	越谷市立東中学校	富士見市(2)
熊谷市立大里中学校	春日部市立春日部南中学校	越谷市立中央中学校	富士見市立勝瀬中学校
熊谷市立三尻中学校	狭山市(1)	越谷市立大相模中学校	富士見市立本郷中学校
川口市(5)	狭山市立堀兼中学校	越谷市立北中学校	ふじみ野市(3)
川口市立西中学校	羽生市(2)	越谷市立西中学校	ふじみ野市立大井西中学校
川口市立領家中学校	羽生市立東中学校	越谷市立北陽中学校	ふじみ野市立福岡中学校
川口市立上青木中学校	羽生市立西中学校	越谷市立大袋中学校	ふじみ野市立花の木中学校
川口市立安行東中学校	鴻巣市(7)	越谷市立南中学校	三郷市(1)
川口市立戸塚中学校	鴻巣市立鴻巣中学校	越谷市立富士中学校	三郷市立彦糸中学校

蓮田市(1)	嵐山町立菅谷中学校
蓮田市立平野中学校	嵐山町立玉ノ岡中学校
坂戸市(6)	小川町(0)
坂戸市立住吉中学校	ときがわ町(1)
坂戸市立坂戸中学校	ときがわ町立都幾川中学校
坂戸市立若宮中学校	川島町(0)
坂戸市立千代田中学校	吉見町(0)
坂戸市立浅羽野中学校	鳩山町(0)
坂戸市立桜中学校	横瀬町(1)
幸手市(1)	横瀬町立横瀬中学校
幸手市立幸手中学校	皆野町(0)
鶴ヶ島市(4)	長瀬町(1)
鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校	長瀬町立長瀬中学校
鶴ヶ島市立西中学校	小鹿野町(0)
鶴ヶ島市立藤中学校	東秩父村(0)
鶴ヶ島市立富士見中学校	美里町(1)
日高市(6)	美里町立美里中学校
日高市立高萩中学校	神川町(0)
日高市立高根中学校	上里町(0)
日高市立武蔵台中学校	寄居町(0)
日高市立高麗川中学校	宮代町(2)
日高市立高萩北中学校	宮代町立須賀中学校
日高市立高麗中学校	宮代町立百間中学校
吉川市(0)	杉戸町(0)
白岡市(1)	松伏町(0)
白岡市立篠津中学校	
伊奈町(2)	
伊奈町立伊奈中学校	
伊奈町立小針中学校	
三芳町(3)	
三芳町立三芳東中学校	
三芳町立藤久保中学校	
三芳町立三芳中学校	
毛呂山町(2)	
毛呂山町立立川角中学校	
毛呂山町立毛呂山中学校	
越生町(1)	
越生町立越生中学校	
滑川町(1)	
滑川町立滑川中学校	
嵐山町(2)	

(3) 高等学校

(令和5年3月31日現在)

さいたま市(10)	深谷市(2)	幸手市(1)
さいたま市立浦和高等学校	埼玉県立深谷第一高等学校	埼玉県立幸手桜高等学校
埼玉県立浦和高等学校	正智深谷高等学校	吉川市(1)
埼玉県立浦和第一女子高等学校	上尾市(2)	埼玉県立吉川美南高等学校
大宮開成高等学校	埼玉県立上尾高等学校(定時制課程)	伊奈町(2)
KG 高等学院 大宮キャンパス	埼玉県立上尾南高等学校	埼玉県立伊奈学園総合高等学校
埼玉県立大宮南高等学校	草加市(2)	国際学院中学校高等学校
埼玉県立常盤高等学校	埼玉県立草加高等学校	毛呂山町(1)
埼玉県立岩槻高等学校	埼玉県立草加東高等学校	埼玉平成高等学校
さいたま市立浦和南高等学校	越谷市(4)	越生町(1)
トライ式高等学院 大宮キャンパス	埼玉県立越谷南高等学校	武蔵越生高等学校
川越市(6)	埼玉県立越谷東高等学校	滑川町(1)
川越市立川越高等学校	埼玉県立越谷西高等学校	埼玉県立滑川総合高等学校
埼玉県立川越高等学校	埼玉県立越ヶ谷高等学校	嵐山町(1)
埼玉県立川越初雁高等学校	蕨市(1)	大妻嵐山高等学校
埼玉県立川越総合高等学校	武南高等学校	小川町(1)
山村学園高等学校	入間市(1)	埼玉県立小川高等学校
埼玉県立川越女子高等学校	埼玉県立入間向陽高等学校	皆野町(1)
熊谷市(0)	新座市(2)	埼玉県立皆野高等学校
川口市(2)	埼玉県立新座総合技術高等学校	寄居町(1)
川口市立高等学校	埼玉県立新座柳瀬高等学校	埼玉県立寄居城北高等学校
埼玉県立川口青陵高等学校	桶川市(1)	杉戸町(2)
加須市(2)	埼玉県立桶川高等学校	埼玉県立杉戸高等学校
埼玉県立不動岡高等学校	久喜市(4)	埼玉県立杉戸農業高等学校
学校法人佐藤栄学園 花咲徳栄高等学校	埼玉県立久喜北陽高等学校	
東松山市(2)	埼玉県立久喜高等学校	
埼玉県立松山高等学校	埼玉県立久喜工業高等学校	
埼玉県立松山女子高等学校	埼玉県立鷺宮高等学校	
春日部市(3)	北本市(1)	
埼玉県立春日部高等学校	埼玉県立北本高等学校	
埼玉県立春日部女子高等学校	八潮市(1)	
埼玉県立春日部東高等学校	埼玉県立八潮高等学校	
羽生市(2)	三郷市(2)	
埼玉県立羽生第一高等学校	埼玉県立三郷高等学校	
埼玉県立誠和福祉高等学校	埼玉県立三郷工業技術高等学校	
鴻巣市(1)	坂戸市(2)	
埼玉県立鴻巣女子高等学校	埼玉県立坂戸西高等学校	
	筑波大学附属坂戸高等学校	

(4) 特別支援学校

(令和5年3月31日現在)

さいたま市(1)
さいたま市立ひまわり特別支援学校
川越市(1)
埼玉県立川越特別支援学校
宮代町(1)
埼玉県立宮代特別支援学校

(5) こども赤十字
幼稚園

(令和5年3月31日現在)

さいたま市(12)	加須市立水深幼稚園	入間市(3)
双恵幼稚園	加須市立加須幼稚園	若杉幼稚園
浦和幼稚園	加須市立大桑幼稚園	角栄幼稚園
大宮なみき幼稚園	加須市立礼羽幼稚園	元加治幼稚園
ひばり幼稚園	加須市立不動岡幼稚園	朝霞市(1)
与野愛仕幼稚園	加須市立三俣幼稚園	さいか幼稚園
青いとり幼稚園	本庄市(1)	志木市(2)
むさし幼稚園	若泉幼稚園	志木協会附属泉幼稚園
浦和こぼと幼稚園	東松山市(2)	細田学園幼稚園
福寿幼稚園	松山聖ルカ幼稚園	新座市(2)
染谷幼稚園	東平幼稚園	第二新座幼稚園
白菊幼稚園	春日部市(4)	第一新座幼稚園
岩槻若葉幼稚園	内牧幼稚園	桶川市(2)
川越市(4)	桃園幼稚園	しろがね幼稚園
ひまわり南幼稚園	豊春幼稚園	桶川ときわこども園
ひまわり東幼稚園	一の割幼稚園	八潮市(3)
ひまわり幼稚園	狭山市(3)	小倉あさひ幼稚園
みよしの幼稚園	狭山市立入間川幼稚園	八潮ちくみ幼稚園
熊谷市(4)	狭山市立水富幼稚園	青和幼稚園
妻沼幼稚園	ひかり幼稚園	坂戸市(2)
成田こども園	羽生市(1)	入西幼稚園
熊谷市立江南幼稚園	建福寺幼稚園	坂戸カオル幼稚園
立正幼稚園	上尾市(1)	幸手市(1)
川口市(3)	カオル幼稚園	幸手白百合幼稚園
たちばな幼稚園	草加市(8)	鶴ヶ島市(3)
清月幼稚園	かおり karuna 認定こども園	つくし幼稚園
小桜幼稚園	いなり幼稚園	かみひろや幼稚園
行田市(2)	新田幼稚園	つるがしま白百合幼稚園
ホザナ幼稚園	草加ひまわり幼稚園	ふじみ野市(1)
まつたけ幼稚園	フラワー幼稚園	香取第二幼稚園
所沢市(1)	谷塚おざわ幼稚園	毛呂山町(3)
すずらん幼稚園	草加ひので幼稚園	ながせ幼稚園
飯能市(1)	あずま幼稚園	ときわぎこども園
学校法人 飯能幼稚園	越谷市(4)	あけぼの幼児園
加須市(10)	萩原第一幼稚園	滑川町(1)
加須市立樋遣川幼稚園	南越谷幼稚園	滑川町立滑川幼稚園
加須市立花崎北幼稚園	しらこぼと幼稚園	嵐山町(1)
加須市立志多見幼稚園	北越谷幼稚園	嵐山町立嵐山幼稚園
加須市立大越幼稚園		

保育園

(令和5年3月31日現在)

さいたま市(3)	上尾市(1)
うらわライトハウス保育園	ころぼっくる第二保育園
いちご南保育園	草加市(1)
いちご保育園	かおり Putra 保育園
川越市(1)	富士見市(6)
芳野保育園	富士見市立第一保育所
熊谷市(7)	富士見市立第六保育所
第三なでしこ保育園	富士見市立第四保育所
なでしこ保育園	富士見市立第二保育所
第二なでしこ保育園	富士見市立第三保育所
ことぶきイーサイト保育園	富士見市立第五保育所
熊谷太井保育園	鶴ヶ島市(1)
ことぶき花ノ木保育園	社会福祉法人 愛宕会 あたご保育園
ことぶき乳児保育園	毛呂山町(2)
行田市(7)	毛呂山町立ゆずの里保育園
埼玉保育園	毛呂山町立旭台保育園
和光保育園	小川町(1)
白鳩保育園	小川保育園
行田市立持田保育園	
太井保育園	
太田保育園	
行田市立南河原保育園	
所沢市(3)	
わかたけ鳩峯保育園	
わかたけ元町保育園	
わかたけ保育園	
本庄市(1)	
こぎくら保育園	
東松山市(3)	
あっぷぶる幼児園	
のもと保育園	
あびつくこども園	
鴻巣市(1)	
寺谷保育園	
深谷市(3)	
花園保育園	
東光保育園	
花園第二こども園	

9 地区・分区活動資金募集実績額

(1) 市地区

(単位:円)

地区名	依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率	
さいたま市	西区	4,378,100	3,753,787	16,000	3,769,787	86.1%
	北区	7,859,400	5,468,378	33,000	5,501,378	70.0%
	大宮区	6,420,700	6,688,611	42,000	6,730,611	104.8%
	見沼区	8,475,800	5,356,554	82,500	5,439,054	64.2%
	中央区	5,516,500	3,601,400	37,000	3,638,400	66.0%
	桜区	5,655,500	3,619,975	10,000	3,629,975	64.2%
	浦和区	8,315,700	4,062,885	29,200	4,092,085	49.2%
	南区	10,047,300	6,060,938	20,000	6,080,938	60.5%
	緑区	5,705,100	5,193,307	220,000	5,413,307	94.9%
	岩槻区	5,818,800	4,486,936	2,095,000	6,581,936	113.1%
川越市	18,749,600	16,588,911	356,000	16,944,911	90.4%	
熊谷市	10,544,500	12,512,786	13,234,705	25,747,491	244.2%	
川口市	31,630,200	18,771,341	949,255	19,720,596	62.3%	
行田市	4,338,100	5,717,700	67,000	5,784,700	133.3%	
秩父市	3,407,800	3,271,041	1,497,000	4,768,041	139.9%	
所沢市	19,137,400	10,175,434	1,554,000	11,729,434	61.3%	
飯能市	4,328,300	3,606,951	345,252	3,952,203	91.3%	
加須市	5,661,700	11,320,537	366,000	11,686,537	206.4%	
本庄市	4,425,900	4,291,300	367,000	4,658,300	105.3%	
東松山市	4,818,700	5,321,825	224,000	5,545,825	115.1%	
春日部市	12,656,000	10,746,328	122,000	10,868,328	85.9%	
狭山市	8,397,700	4,578,308	259,000	4,837,308	57.6%	
羽生市	2,782,400	2,953,800	1,175,000	4,128,800	148.4%	
鴻巣市	6,114,000	5,483,195	45,000	5,528,195	90.4%	
深谷市	7,233,300	7,581,940	1,185,000	8,766,940	121.2%	
上尾市	12,025,000	10,276,470	898,118	11,174,588	92.9%	
草加市	13,812,600	9,661,755	248,000	9,909,755	71.7%	
越谷市	17,646,900	13,068,345	251,000	13,319,345	75.5%	
蕨市	4,342,800	3,644,120	440,000	4,084,120	94.0%	
戸田市	7,211,200	5,941,963	0	5,941,963	82.4%	
入間市	7,902,400	9,339,367	1,188,300	10,527,667	133.2%	
朝霞市	7,567,300	5,127,760	151,000	5,278,760	69.8%	

地区名	依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
志木市	3,865,900	3,398,777	20,000	3,418,777	88.4%
和光市	4,904,200	1,678,388	590,000	2,268,388	46.3%
新座市	8,775,600	6,670,071	71,000	6,741,071	76.8%
桶川市	3,911,500	3,904,856	31,000	3,935,856	100.6%
久喜市	8,010,800	9,684,173	154,300	9,838,473	122.8%
北本市	3,607,000	3,302,484	26,250	3,328,734	92.3%
八潮市	4,468,300	4,410,622	135,000	4,545,622	101.7%
富士見市	6,028,900	5,039,220	129,000	5,168,220	85.7%
ふじみ野市	5,829,800	8,005,214	230,500	8,235,714	141.3%
三郷市	7,051,900	6,378,761	767,000	7,145,761	101.3%
蓮田市	3,283,000	4,768,597	170,000	4,938,597	150.4%
坂戸市	5,643,900	3,463,305	51,000	3,514,305	62.3%
幸手市	2,791,400	3,070,963	0	3,070,963	110.0%
鶴ヶ島市	3,805,800	2,346,978	422,500	2,769,478	72.8%
日高市	2,974,200	4,614,700	967,954	5,582,654	187.7%
吉川市	3,297,400	1,645,413	0	1,645,413	49.9%
白岡市	2,535,000	2,172,101	0	2,172,101	85.7%
市地区 計	363,711,300	302,828,571	31,272,834	334,101,405	91.9%

(2) (郡)地区

(単位:円)

地区名	依頼額	一般活動資金実 績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
東部中央	7,873,800	7,057,124	508,200	7,565,324	96.1%
西部	11,800,000	17,845,015	1,134,465	18,979,480	160.8%
北部	4,593,800	6,941,830	764,000	7,705,830	167.7%
秩父	2,021,100	2,871,221	2,027,000	4,898,221	242.4%
(郡)地区 計	26,288,700	34,715,190	4,433,665	39,148,855	148.9%
市・郡 合計	390,000,000	337,543,761	35,706,499	373,250,260	95.7%

(3)町村分区

(単位:円)

分区名	依頼額	一般活動資金実績額	特別活動資金実績額	合計	達成率
【東部中央】					
伊奈町	2,181,300	2,208,106	443,200	2,651,306	121.5%
宮代町	1,815,000	1,616,330	0	1,616,330	89.1%
杉戸町	2,368,500	2,000,918	65,000	2,065,918	87.2%
松伏町	1,509,000	1,231,770	0	1,231,770	81.6%
【西 部】					
三芳町	1,969,000	2,044,648	456,000	2,500,648	127.0%
毛呂山町	2,135,700	2,320,476	301,000	2,621,476	122.7%
越生町	642,900	1,315,300	30,000	1,345,300	209.3%
滑川町	876,200	1,955,845	20,000	1,975,845	225.5%
嵐山町	950,100	2,174,360	90,000	2,264,360	238.3%
小川町	1,653,900	1,979,421	51,000	2,030,421	122.8%
川島町	1,044,000	1,383,150	72,465	1,455,615	139.4%
吉見町	996,500	1,456,150	0	1,456,150	146.1%
鳩山町	761,000	1,095,365	104,000	1,199,365	157.6%
ときがわ町	612,900	1,681,500	10,000	1,691,500	276.0%
東秩父村	157,800	438,800	0	438,800	278.1%
【北 部】					
美里町	528,300	767,300	0	767,300	145.2%
神川町	715,200	964,630	2,000	966,630	135.2%
上里町	1,549,600	2,680,400	6,000	2,686,400	173.4%
寄居町	1,800,700	2,529,500	756,000	3,285,500	182.5%
【秩 父】					
横瀬町	442,800	530,341	926,000	1,456,341	328.9%
皆野町	538,200	968,500	496,000	1,464,500	272.1%
長瀨町	389,300	645,940	605,000	1,250,940	321.3%
小鹿野町	650,800	726,440	0	726,440	111.6%
町村分区 計	26,288,700	34,715,190	4,433,665	39,148,855	148.9%

10 活動資金募集内訳表

(1)一般活動資金

内 訳 1 件あたり金額		会 費		寄付金		個人住民税にかかる指定事業				合 計	
		件数	金額	件数	金額	会費		寄付金		件数	金額
						件数	金額	件数	金額		
1	1 千万円以上	2 件	20,000,000 円	5 件	122,645,886 円					7 件	142,645,886 円
2	100 万円以上 1 千万円未満	6 件	10,775,464 円	12 件	17,179,000 円	3 件	3,000,000 円	10 件	21,471,000 円	31 件	52,425,464 円
3	50 万円以上 100 万円未満	3 件	1,770,910 円	5 件	2,500,000 円	2 件	1,000,000 円	3 件	1,600,000 円	13 件	6,870,910 円
4	20 万円以上 50 万円未満	23 件	4,967,752 円	15 件	3,161,029 円	8 件	2,000,000 円	1 件	300,000 円	47 件	10,428,781 円
5	10 万円以上 20 万円未満	87 件	10,102,651 円	11 件	1,124,000 円	24 件	2,400,000 円	1 件	100,000 円	123 件	13,726,651 円
6	5 万円以上 10 万円未満	174 件	9,274,193 円	5 件	250,593 円					179 件	9,524,786 円
7	3 万円以上 5 万円未満	314 件	10,458,776 円	1 件	30,000 円	3 件	100,000 円			318 件	10,588,776 円
8	2 万円以上 3 万円未満	365 件	7,641,259 円	3 件	60,000 円			1 件	20,000 円	369 件	7,721,259 円
9	1 万円以上 2 万円未満	1,739 件	17,607,057 円	11 件	129,840 円					1,750 件	17,736,897 円
10	5 千円以上 1 万円未満	1,587 件	8,047,349 円	32 件	174,423 円					1,619 件	8,221,772 円
11	3 千円以上 5 千円未満	2,082 件	6,329,316 円	11 件	41,008 円	3 件	9,000 円			2,096 件	6,379,324 円

12	2千円以上 3千円未満	4,005件	8,054,528円	11件	28,378円					4,016件	8,082,906円
13	2千円未満			212,299件	336,456,342円					212,299 件	336,456,342円
	合計	10,387件	115,029,255円	212,421件	483,780,499円	43件	8,509,000円	16件	23,491,000円	222,867件	630,809,754円

(2)法人活動資金

内 訳		指定事業法人社資				その他法人社資				合 計	
		会費		寄付金		会費		寄付金			
		1 件あたり金額		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	2 千万円以上										
2	1 千万円以上 2 千万円未満			1 件	10,000,000 円					1 件	10,000,000 円
3	500 万円以上 1 千万円未満										
4	100 万円以上 500 万円未満	4 件	6,000,000 円	1 件	1,000,000 円			1 件	2,000,000 円	6 件	9,000,000 円
5	50 万円以上 100 万円未満	6 件	3,000,000 円			6 件	3,005,433 円	1 件	718,533 円	13 件	6,723,966 円
6	20 万円以上 50 万円未満	5 件	1,150,000 円	1 件	400,000 円	7 件	1,726,075 円	2 件	550,000 円	15 件	3,826,075 円
7	10 万円以上 20 万円未満	26 件	2,675,031 円	1 件	150,000 円	19 件	2,023,676 円	2 件	200,000 円	48 件	5,048,707 円
8	5 万円以上 10 万円未満	29 件	1,492,000 円			18 件	942,534 円	1 件	52,815 円	48 件	2,487,349 円
9	2 万円以上 5 万円未満	40 件	1,206,000 円			183 件	4,233,773 円	4 件	137,699 円	227 件	5,577,472 円
10	1 万円以上 2 万円未満					881 件	8,960,281 円	2 件	21,450 円	883 件	8,981,731 円

11	5千円以上 1万円未満					321件	1,696,881円	2件	11,744円	323件	1,708,625円
12	2千円以上 5千円未満					434件	1,136,986円	2件	6,183円	436件	1,143,169円
13	2千円未満							67件	59,513円	67件	59,513円
	合計	110件	15,523,031円	4件	11,550,000円	1,932件	23,780,794円	21件	3,702,782円	2,067件	54,556,607円

11 特別社員受章者

種別 \ 区分	個人	法人	合計
紺綬褒章(状)	6件	1件	7件
厚生労働大臣感謝状	3件	1件	4件
社長感謝状	34件	21件	55件
金色有功章	24件	14件	38件
銀色有功章	52件	20件	72件
支部長表彰状	19件	5件	24件
特別社員章	173件	28件	201件

※令和4年度中の寄付に対する件数

12 一日赤十字実施状況

	開催日	行事名	会場
越谷市	6月4日・5日	レイクタウン防災フェス2022	イオンレイクタウン
行田市	7月(中止)	第25回行田蓮まつり	行田市古代蓮の里
南区	10月8日	第20回南区ふるさとふれあいフェア	浦和競馬場
秩父市	10月(中止)	であいの広場	羊山公園内
越谷市	10月23日	第47回越谷市民まつり	見田方遺跡公園
所沢市	10月29日・30日	第43回所沢市民フェスティバル	所沢航空記念公園
浦和区	11月6日	浦和区民まつり2022	浦和駅周辺
深谷市	11月13日	令和4年度FK Fes合同イベント	深谷市役所
飯能市	中止	飯能市地域防災訓練	飯能市美杉台小学校
羽生市	10月(中止)	第33回羽生市民福祉健康まつり	羽生市民プラザ
川越市	11月20日	つばさ館まつり	環境プラザつばさ館
上尾市	2月19日	西上尾第二団地自治会防災訓練	西上尾第二団地広場

国際赤十字・赤新月運動の基本原則

The Fundamental Principles of the International Red Cross and Red Crescent Movement
国際赤十字・赤新月運動の基本原則は、第20回赤十字国際会議(1965年[昭和40年]於ウィーン)において宣言された。

この原文では文中の主語が「赤十字は」となっていますが、第25回赤十字国際会議(1986年[昭和61年]於ジュネーブ)では、これを「国際赤十字・赤新月運動は」と改訂し、現在の基本原則が採択された。

人道(Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、赤十字・赤新月)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力、および堅固な平和を助長する。

公平(Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別もしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立(Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立(Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕(Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一(Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字・赤新月社しかありえない。赤十字・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性(Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

赤十字国際標語一覽

- 1960年（昭和35）赤十字はいつもあなたとともに
1961年（昭和36）赤十字の手は村にも国にも世界にも
1962年（昭和37）美しい心と力をあつめて赤十字は活動する
1963年（昭和38）人道をささえて赤十字100周年
1964年（昭和39）お互いの守りのためにみんなで赤十字をささえよう
1965年（昭和40）若人の胸に赤十字を
1966年（昭和41）世界の赤十字 みんなの赤十字
1967年（昭和42）生命の守りを
1968年（昭和43）赤十字はみんなのしごと
1969年（昭和44）あすに備える赤十字
1970年（昭和45）人間を戦争からまもろう（人道法の実施、普及、発展）
1971年（昭和46）どこへでもいつでも赤十字
1972年（昭和47）赤十字は人道のかけ橋
1973年（昭和48）あなたとあなたの世界に赤十字
1974年（昭和49）いのちを守る赤十字！（救急法、水上安全法、家庭看護法の普及）
1975年（昭和50）赤十字：危急のときのいのち綱
1976年（昭和51）行動する赤十字
1977年（昭和52）人の和を世界に広げる赤十字
1978年（昭和53）参加しよう赤十字
1979年（昭和54）愛の手で世界を結ぶ赤十字
1980年（昭和55）赤十字：みんなのために どこまでも
1981年（昭和56）あなたとともに赤十字
1982年（昭和57）あなたの身近に赤十字
1983年（昭和58）とっさの手当がいちのちを守る！！覚えよう救急法
1984年（昭和59）人道を通じて平和へ
1985年（昭和60）あなたの若さを一赤十字
1986年（昭和61）いのちを救う愛の献血一赤十字
1987年（昭和62）幼い生命に愛の手を一赤十字
1988年（昭和63）伝統を明日への力に一赤十字
1989年（平成1）愛の手を世界に広げる赤十字
1990年（平成2）守ろう！人のいのちと尊さを
1991年（平成3）救おう！災禍にあえぐ人々を ～生命と尊厳を守る赤十字～
1992年（平成4）災害に備えて守る尊い生命一赤十字
1993年（平成5）～2000年（平成12）すべての人々に人間の尊厳を
2001年（平成13）～2004年（平成16）人道は限りない力
2005年（平成17）～2007年（平成19）守ろう人間の尊さを
2008年（平成20）～ 人間を救うのは、人間だ。

皇室と赤十字

皇室と赤十字との関係は、博愛社設立のとき、有栖川宮熾仁親王のご尽力をいただいて以来、深いつながりを持ち続けている。

1912年(明治45年)、昭憲皇太后より赤十字の平時事業振興のためにと、国際赤十字に対し10万円の御下賜金があった。更に1934年(昭和9年)、東京で開かれた第15回赤十字国際会議に際して、貞明皇后より10万円の追贈があり、その後1963年(昭和38年)には、皇后陛下より360万円、1968年(昭和43年)には明治100年を記念して100万円の御下賜金をいただいている。

国際赤十字では、昭憲皇太后基金と名づけ、その利子を赤十字平和事業の推進に活用されている。

なお、令和4年度における名誉総裁・名誉副総裁は次のとおりである。

名誉総裁	皇后陛下
名誉副総裁	秋篠宮皇嗣妃殿下
	常陸宮殿下・同妃華子殿下
	三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下
	高円宮妃久子殿下

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

令和4年度 事業概要



〒330-0064さいたま市浦和区岸町3-17-1
TEL 048-789-7117 FAX 048-834-1520
公式ホームページ
<https://www.jrc.or.jp/chapter/saitama>
公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/redcrosssaitama>